

# 2018年3月期 第1四半期 決算 投資家向け説明会

2017年8月8日

ソフトバンクグループ株式会社



## 免責事項

本資料に記載されている計画、見通し、戦略およびその他の歴史的事実でないものは、作成時点において入手可能な情報に基づく将来に関する見通しであり、さまざまなリスクおよび不確実性が内在しています。実際の業績は経営環境の変動などにより、これら見通しと大きく異なる可能性があります。また、本資料に記載されている当社および当社グループ以外の企業などにかかわる情報は、公開情報などから引用したものであり、情報の正確性などについて保証するものではありません。

本資料中のスプリント・コーポレーション（以下「スプリント」）に関するいかなる記載も、当社がスプリントに対する投資家としての立場から行っているものに過ぎず、スプリントを代理して、又はスプリントのために行われたものではありません。本資料中のスプリントに関するいかなる情報も、スプリント自体が今後行うあらゆる開示に服します。スプリント及び当社はいずれも、スプリントが今後行う開示に関連して、又は今後発生する事象を反映するために、本資料中の情報を更新する義務を負いません。本資料におけるいかなる記載も、スプリントが自ら開示等を行う義務を構成するものとして解釈されてはならないものとします。

# 經理編

# セグメント別の主な構成企業

## <FY16>

報告セグメント	主な事業会社
国内通信事業	ソフトバンク Wireless City Planning
スプリント事業	スプリント
ヤフー事業	ヤフー アスクル
流通事業	ブライトスター ソフトバンクコマース&サービス
アーム事業 (FY16Q2新設)	アーム (業績は2016年9月6日から反映)
その他	福岡ソフトバンクホークス

## <FY17>

報告セグメント	主な事業会社
国内通信事業	ソフトバンク Wireless City Planning
スプリント事業	スプリント
ヤフー事業	ヤフー アスクル
流通事業	ブライトスター ソフトバンクコマース&サービス
アーム事業	アーム
<b>SVF事業 (新設)</b>	SoftBank Vision Fund
その他	福岡ソフトバンクホークス

# 連結P/L (含むSVF事業)

## P/L

### 売上高

売上原価

### 売上総利益

販管費

営業利益 (SVF除く)

**SVF営業利益**

### 営業利益

財務費用(支払利息)

持分法投資損益

**SVF外部投資家持分の増減額**

その他の営業外損益

### 税引前利益

法人所得税

### 純利益

### 純利益の帰属

親会社の所有者

非支配持分

FY17Q1におけるSVFの投資はなし  
FY17Q1では、SVFへ移管が決定した株式の  
公正価値の変動額を評価損益として計上

- 投資の売却による実現損益
- 投資の未実現評価損益
- 投資先からの利息配当収益  
(子会社株式に対する投資損益を除く)
- SVFを構成する事業体の設立費用
- GPおよびアドバイザー会社等で発生した取引  
調査費用、各社で発生した管理費用など

- SVF営業利益のうち、外部投資家持分の増減

# 連結P/L総括 IFRSベース - 1

(億円)

PL項目	FY16Q1	FY17Q1	増減	主な増減要因
<b>継続事業</b>				
売上高	21,265	21,861	+596	-76 国内通信事業の減収（外部顧客への売上高） 通信サービス売上と物販等売上の減少
				+269 スプリント事業の増収（外部顧客への売上高） 米ドルベースでも増収（IFRS：FY16：80億米ドル、FY17：82億米ドル）
				+65 ヤフー事業の増収（外部顧客への売上高） 広告関連売上の増加、およびFY16にイーブックイニシアティブジャパンを子会社化した影響
				-171 流通事業の減収（外部顧客への売上高） C&Sを除くブライトスターの米ドルベースの減収
				+470 アーム事業の新設（外部顧客への売上高） 2016年9月にアームを子会社化
営業利益（SVF除く）	3,192	3,740	+548	-205 国内通信事業の減益
				+866 スプリント事業の増益 周波数ライセンス交換差益（534）の計上や営業費用の減少による増益、米ドルベースも増益 （IFRS：FY16：4億米ドル、FY17：12億米ドル）
				+13 ヤフー事業の増益
				-43 流通事業の減益 ブライトスターの米ドルベースの減益
				-69 アーム事業の新設 従業員数の増加および従業員報酬制度の拡充による研究開発費などの増加、無形資産の償却の影響
SVF営業利益	-	1,052	+1,052	+1,052 SVF事業の新設 SVFへ移管が決定した株式のうち、NVIDIA株式の公正価値の変動額を評価損益として計上
<b>営業利益</b>	<b>3,192</b>	<b>4,793</b>	<b>+1,601</b>	

C&S：ソフトバンクコマース&サービス

※期中平均為替レート（1米ドル）：FY16/Q1:109.07円、FY17/Q1:111.61円

# 連結P/L総括 IFRSベース - 2

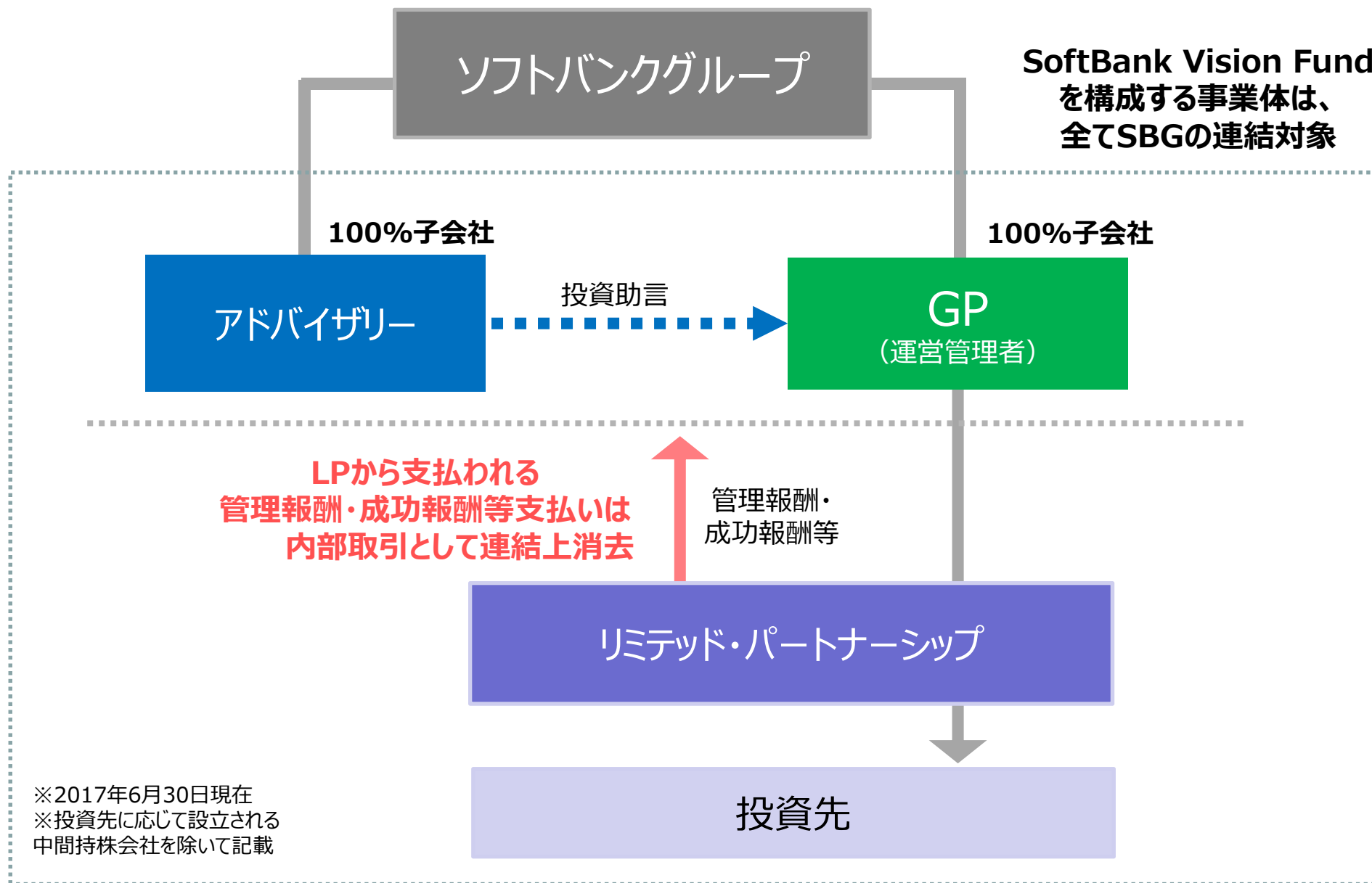
(億円)

PL項目	FY16Q1	FY17Q1	増減	主な増減要因	
<b>継続事業</b>					
売上高	21,265	21,861	+596		
営業利益 (SVF除く)	3,192	3,740	+548		
SVF営業利益	-	1,052	+1,052		
<b>営業利益</b>	<b>3,192</b>	<b>4,793</b>	<b>+1,601</b>		
財務費用	-1,121	-1,209	-88	-88	SBGの支払利息の増加
				+11	スプリントの支払利息の減少
持分法による投資損益	355	16	-339	-270	アリババに係る持分法投資利益の減少 (p.21参照)
関連会社株式売却益	2,042	-	-2,042	-2,029	FY16はアリババ株式の一部をアリババ、シンガポール政府系ファンド2社へ売却
デリバティブ関連損益	215	-2,571	-2,786	-2,538	アリババ株式資金化に係るカラー取引のデリバティブ評価損失を計上 (p.24参照)
SVF外部投資家持分の増減額	-	-436	-436	-436	SVF営業利益のうち、外部投資家に帰属予定の損益を計上
その他営業外損益	-1,120	182	+1,302	+549	FVTPLの金融商品から生じる損益 東南アジアとインドの投資の公正価値の変動額を損益として計上 (p.26参照)
				+425	売却目的保有資産に対する減損損失 FY16はガンホー株式を公開買付価額で評価し連結簿価との差額 (425) を損失計上
<b>税引前利益</b>	<b>3,564</b>	<b>776</b>	<b>-2,788</b>		
法人所得税	-1,441	-470	+971		
<b>継続事業からの純利益</b>	<b>2,123</b>	<b>305</b>	<b>-1,818</b>		
<b>非継続事業</b>					
非継続事業からの純利益	601	-	-601	-601	FY16はスーパーセルの税引後利益 (211)、および投資一時差異に対する繰延税金費用 (390) を計上
<b>純利益 (親会社所有者帰属分)</b>	<b>2,542</b>	<b>55</b>	<b>-2,487</b>		

SBG : ソフトバンクグループ

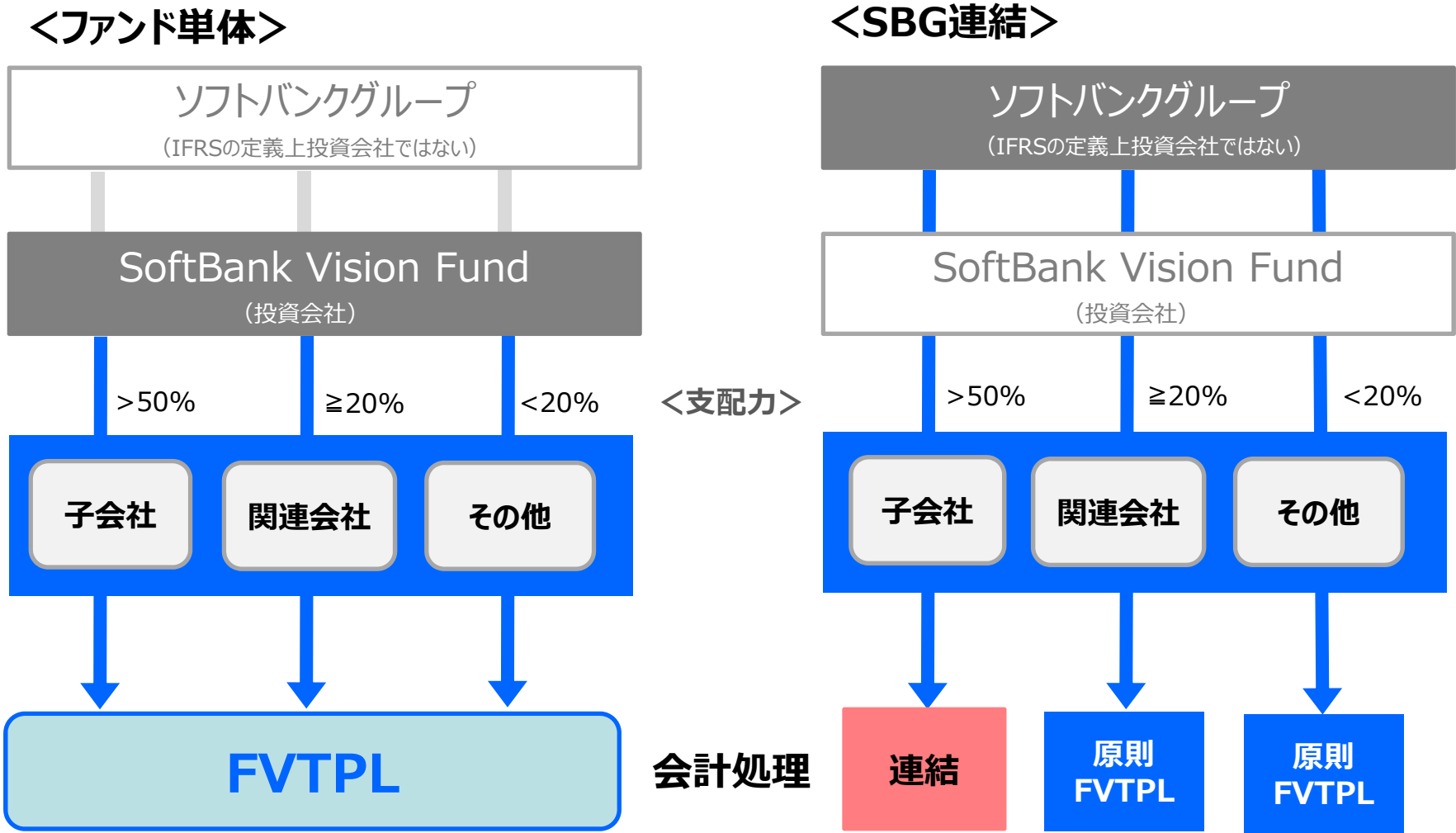
※期中平均為替レート (1米ドル) : FY16/Q1:109.07円、FY17/Q1:111.61円

# SoftBank Vision Fundの構成 (概念図)





## SBG連結におけるファンド投資先（ポートフォリオ）の会計処理



※FVTPL (Fair Value Through Profit or Loss) : 資産・負債を期末時点の公正価値で評価し当該増減をPLに計上する方法

### SVF外部投資家持分の取り扱い

ファンド期間は有限

外部投資家の持分は  
「負債」として計上

## B/S

### 資産

#### 流動資産

現金及び現金同等物  
営業債権及びその他の債権  
その他の金融資産 等

#### 非流動資産

有形固定資産  
のれん  
無形資産  
持分法で会計処理されている投資

**FVTPLで会計処理されている  
SVFからの投資**

その他の金融資産 等

SVFからの投資（子会社株式を除く）

FY17Q1では、SVFへ移管が決定した  
投資有価証券の公正価値を計上

### 負債及び資本

#### 流動負債

有利子負債  
営業債務及びその他の債務 等

#### 非流動負債

有利子負債  
**SVF外部投資家持分**  
その他の金融負債  
引当金  
繰延税金負債 等

#### 資本

親会社の所有者に帰属する持分  
非支配持分

SVFの外部投資家に帰属する持分  
は負債として計上

FY17Q1では、その他の金融負債に  
含めて表示

# 連結B/S総括 IFRSベース -1

(億円)

B/S項目	主な科目	2017/3月末	2017/6月末	増減	主な増減要因
流動資産		<b>57,240</b>	<b>47,671</b>	<b>-9,569</b>	
	現金及び現金同等物	21,831	12,880	-8,951	投資の取得による支出 (-9,127) 主に、SVFへ移管予定または移管決定した投資に係る支出 (p.18参照)
	その他の金融資産	7,947	6,694	-1,253	スプリントの短期運用目的のコマーシャルペーパーの減少
	その他の流動資産	2,832	3,784	+952	グループ会社間の配当に係る仮払い源泉所得税を計上
		<b>189,102</b>	<b>201,160</b>	<b>+12,058</b>	
非流動資産	有形固定資産	39,773	39,095	-678	
	スプリント	19,261	18,925	-336	ソフトバンクおよびスプリントの通信設備の償却に伴う減少
	のれん	41,755	42,787	+1,032	のれんの内訳は、p.13参照
	アーム	26,879	27,930	+1,051	主に為替変動による増加
	無形資産	69,466	69,723	+257	無形資産の内訳は、p.14参照
	FVTPLで会計処理されているSVFからの投資	-	4,833	+4,833	SVFへ移管が決定したNVIDIA株式を「投資有価証券」から振替え、公正価値を計上 SVFへ移管が決定した新規取得した投資有価証券の公正価値を計上
	投資有価証券	11,064	16,983	+5,919	Xiaoju Kuaizhi (Didi) への追加出資、OSIsoftなどの投資有価証券の新規取得による増加 SVFへ移管が決定したNVIDIA株式の「FVTPLで会計処理されているSVFからの投資」への振替に伴う減少
	その他の金融資産	4,459	4,423	-36	
繰延税金資産	4,050	4,576	+526		
	<b>資産合計</b>	<b>246,342</b>	<b>248,831</b>	<b>+2,489</b>	

※為替レート：2017年3月末 112.19円/米ドル、2017年6月末 112.00円/米ドル  
2017年3月末 140.08円/英ポンド、2017年6月末 145.79円/英ポンド

# 連結B/S総括 IFRSベース -2 (のれんの内訳)

(億円)

B/S 項目	主な内訳	2017/ 3月末	2017/ 6月末	増減		摘要
				為替変動	その他	
		<b>41,755</b>	<b>42,787</b>	<b>+1,089</b>	<b>-57</b>	
の れ ん	アーム	26,879	27,930	+1,094	-43	「その他」の減少はPPA暫定処理の修正
	ソフトバンク	9,075	9,075	-	-	
	スプリント	3,304	3,298	-6	-	
	一休	720	720	-	-	
	ブライトスター	580	579	-1	-	
	アスクル	538	538	-	-	

※上記は当社が支配獲得時に認識したのれんの金額。支配獲得後の当該子会社によるM&Aの結果認識したのれんは含まない。

※スプリント、ブライトスター（米ドル）：為替レート 2017年3月末 112.19円/米ドル、2017年6月末 112.00円/米ドル  
アーム（英ポンド）：為替レート 2017年3月末 140.08円/英ポンド、2017年6月末 145.79円/英ポンド

# 連結B/S総括 IFRSベース -3 (無形資産の内訳)

(億円)

B/S 項目	主な科目	2017/ 3月末	2017/ 6月末	増減			摘要	
				償却費	為替変動	その他		
主な無形資産	FCCライセンス (非償却)	41,007	41,485	-	-68	+546		
	スプリント	41,007	41,485	-	-68	+546	「その他」の増加は、主に他のキャリアとの周波数交換 (非資金取引) に伴い取得したFCCライセンス	
	テクノロジー	5,229	5,393	-102	+213	+53		
	主な内訳	アーム	5,225	5,389	-102	+213	+53	「その他」の増加は、PPA暫定処理の修正 定額法 償却年数：8-20年
	顧客基盤	4,488	4,225	-318	+55	-		
	主な内訳	スプリント	2,098	1,856	-238	-4	-	月次級数法 償却年数：ポストペイド：8年、プリペイド：4年
		アーム	1,440	1,468	-30	+58	-	定額法 償却年数：13年
		アスクル	348	339	-9	-	-	定額法 償却年数：11年
		ソフトバンク	244	216	-28	-	-	月次級数法 償却年数：移動 (PHS除く)：8年、固定：6年、 PHS：9年
		一休	146	143	-3	-	-	定額法 償却年数：10-14年
		ブライトスター	135	129	-6	-	-	月次級数法 償却年数：12-16年
	商標権	7,030	7,020	-	-10	-	耐用年数を確定できる商標権を除く	
		スプリント	6,659	6,648	-	-11	-	
		アスクル	201	201	-	-	-	
		一休	101	101	-	-	-	
		ブライトスター	69	70	-	+1	-	

※スプリント、ブライトスター (米ドル) : 為替レート 2017年3月末 112.19円/米ドル、2017年6月末 112.00円/米ドル  
 アーム (英ポンド) : 為替レート 2017年3月末 140.08円/英ポンド、2017年3月末 145.79円/英ポンド

# 連結B/S総括 IFRSベース -4

(億円)

B/S項目	主な科目	2017/3月末	2017/6月末	増減	主な増減要因
流動負債		<b>52,269</b>	<b>55,385</b>	<b>+3,116</b>	
	短期借入金	6,677	8,316	+1,639	
	SBG	5,058	7,016	+1,958	コミットメントラインを利用した借入れの増加
	1年内返済予定の長期借入金	11,285	11,942	+657	
	SBG	4,340	4,344	+4	
	スプリント	3,072	3,632	+560	非流動負債からの振替えによる増加
	その他	3,873	3,966	+93	
	1年内返済予定の社債	3,395	6,929	+3,534	
	SBG	1,199	5,190	+3,991	非流動負債からの振替えによる増加
	スプリント	2,194	1,738	-456	一部社債の期限前償還に伴う減少
営業債務及びその他債務	16,075	14,665	-1,410		
ソフトバンク	5,148	4,263	-885	販売手数料の未払金や携帯端末の買掛金の支払いに伴う減少	
スプリント	4,506	3,855	-651	通信設備の未払金および携帯端末の買掛金の支払いに伴う減少	
未払法人所得税	2,562	772	-1,790	スーパーセル株式売却益に対する法人所得税などを納税	
非流動負債		<b>149,376</b>	<b>146,899</b>	<b>-2,477</b>	
	長期借入金	33,776	33,650	-126	
	SBG	21,337	21,365	+28	
	スプリント	10,441	10,306	-135	
	社債	72,338	67,093	-5,245	
	SBG	42,445	38,701	-3,744	流動負債への振替による減少
スプリント	29,543	28,042	-1,501	一部社債の期限前償還に伴う減少	
デリバティブ金融負債	2,541	4,719	+2,178	アリババ株式先渡売買契約に基づくデリバティブ負債 (p.23参照)	
<b>負債合計</b>		<b>201,645</b>	<b>202,284</b>	<b>+639</b>	

※為替レート：2017年3月末 112.19円/米ドル、2017年6月末 112.00円/米ドル

# 連結B/S総括 IFRSベース -5

(億円)

B/S 項目	主な科目	2017/ 3月末	2017/ 6月末	増減	主な増減要因
		<b>44,697</b>	<b>46,547</b>	<b>+1,850</b>	
資本	資本金	2,388	2,388	-	
	資本剰余金	2,457	2,475	+18	
	利益剰余金	29,584	29,392	-192	親会社の所有者に帰属する純利益の計上 (+55) 、 期末配当金の支払い (-240)
	自己株式	-677	-664	+13	
	その他包括利益累計額	2,112	4,140	+2,028	主にアームに係る為替換算差額の増加 (+1,549)
	非支配持分	8,834	8,817	-17	
	<b>親会社の所有者に帰属する持分比率 (自己資本比率)</b>	<b>14.6%</b>	<b>15.2%</b>	<b>+0.6p</b>	

※スプリント (米ドル) : 為替レート 2017年3月末 112.19円/米ドル、2017年6月末 112.00円/米ドル  
 アーム (英ポンド) : 為替レート 2017年3月末 140.08円/英ポンド、2017年6月末 145.79円/英ポンド



# 連結C/F（含むSVF事業）

## C/F

### 営業活動によるキャッシュ・フロー

純利益  
減価償却費  
SVF投資損益  
SVF外部投資家持分の増減額 他  
小計  
利息及び配当金の受取額  
利息の支払額

### 投資活動によるキャッシュ・フロー

固定資産の取得による支出  
SVFによる投資の取得による支出  
SVFによる投資の売却による収入 他

### 財務活動によるキャッシュ・フロー

有利子負債の収入  
有利子負債の支出  
SVF外部投資家からの払込による収入  
SVF外部投資家に対する分配・償還額 他

現金及び現金同等物の増減額  
現金及び現金同等物の期首残高  
現金及び現金同等物の期末残高

FY17Q1では、当社が実施した投資のうち、SVFへ移管が決定されている投資に係る支出を計上

SVFからの投資と処分に関する収支

外部投資家に関する収支（払込・償還・分配等）

# 連結C/F総括 IFRSベース

(億円)

C/F項目	FY17Q1	主な内訳	
営業活動によるCF	1,960	305	純利益
		3,720	減価償却費及び償却費
		-1,069	SVF投資損益
		1,209	財務費用
		2,571	デリバティブ関連損益
		436	SVF外部投資家持分の増減額
		-182	その他営業外損益
		470	法人所得税
		-985	棚卸資産の増減額
		-1,117	利息の支払額
		-2,510	法人所得税の支払額 スーパーセル売却に係る法人税の支払
投資活動によるCF	-10,684	-2,840	有形固定資産及び無形資産の取得による支出
		-8,647	投資の取得による支出 Xiaoju Kuaizhi (Didi) やOSIssoftなどの投資有価証券を取得 (SVFへ移管予定の投資を含む)
		-480	SVFによる投資の取得による支出 SVFへ移管が決定した投資に係る支出
		1,011	短期運用有価証券の収支 主にスプリントの短期運用による収支
財務活動によるCF	-260	1,768	短期有利子負債の収支
		3,355	長期有利子負債の収入 長期借入による収入 (2,192)、新規取得設備のセール・アンド・リースバックによる収入 (1,163)
		-4,809	長期有利子負債の支出 スプリントの社債の償還による支出 (-1,772)、長期借入金の返済による支出 (-1,693)、リース債務の返済による支出 (-1,186)
現金及び現金同等物の期首残高	21,831		
現金及び現金同等物の期末残高	12,880		

# スプリントの影響 – U.S. GAAP⇒IFRS調整 (1)

【P/L項目の調整】 (2017年4月1日 – 2017年6月30日) (Mil USD)

スプリント	米国基準	表示の組替 (1)	認識・測定の差異					IFRS		ソフトバンクグループ
			ネットワーク再編費用の認識時点 (2)	資産除去債務の割引率 (3)	債権流動化費用 (4)	過年度減損固定資産の減価償却費 (5)	その他	Mil USD	億円	
Net operating revenues	8,157							8,157	9,104	売上高
Net operating expenses										
Cost of services and products	-3,254	-1,914				-8	33	-5,143	-5,741	売上原価
Selling, general and administrative	-1,938	-144					-10	-2,092	-2,335	販売費及び一般管理費
Depreciation and amortization	-2,054	2,054								
Other, net	252	6	5				-2	261	292	その他の営業損益
Operating income	1,163	2	5			-8	21	1,183	1,320	営業利益
Interest expense	-613	9	-1	-12	-1		-2	-620	-692	財務費用
Other expense, net	-52	-11					5	-58	-65	その他の営業外損益
Income before income taxes	498		4	-12	-1	-8	24	505	563	税引前利益
Income tax expense	-292						-1	-293	-326	法人所得税
Net Income	206		4	-12	-1	-8	23	212	237	純利益
Operating income	1,163	2	5			-8	21	1,183	1,320	営業利益
Depreciation and amortization	2,054	4				8	2	2,068	2,308	減価償却費及び償却費
EBITDA	3,217	6	5				23	3,251	3,628	EBITDA
Other adjustments	-364		-5				2	-367	-410	その他の調整項目
Adjusted EBITDA	2,853	6					25	2,884	3,218	調整後EBITDA

※日本円への換算は期中平均レート (Q1 : 111.61円/米ドル) を使用

- (1) 主に減価償却費・償却費を売上原価及び販管費への振替、うち8百万米ドルは資産除去債務から生じる利息で米国基準では営業費用、IFRSでは財務費用として表示
- (2) ネットワーク再編 (iDEN, Clearwire等) 費用は、米国基準では支払の発生可能性が高くなった時点で認識、IFRSでは計画が公表された時点で認識 (IFRSでは支配獲得時に引当金として計上済み)
- (3) 米国基準では見積りキャッシュアウトフローが増加した場合にのみ資産除去債務の算定に用いる割引率を更新、IFRSでは期末日毎に割引率を更新
- (4) 債権流動化に係るエージェントフィーやアップフロントフィーを米国基準では費用処理、IFRSでは資産として繰延べまたは負債から控除し、契約期間 (2年) で償却
- (5) スプリント (米国基準) ではReporting Unit (報告単位) をWireless・Wirelineに分けて、個別資産・資産グループごとに減損テストを実施し、2015年3月期に減損損失を認識したWirelineの有形固定資産にかかる減価償却費を不認識。当社 (IFRS) ではスプリント全体を1つのCGUとして資産全体で減損テストを実施し、減損損失を不認識のため減価償却費を継続して認識

# スプリントの影響 – U.S. GAAP⇒IFRS調整 (2)

【B/S項目の調整】 (2017年6月末時点)

(Mil USD)

スプリント	米国基準	表示の組替(1)	認識・測定の差異						のれん調整(6)	IFRS		ソフトバンクグループ
			過年度減損固定資産(2)	ネットワーク再編費用の認識時点(3)	資産除去債務の割引率(4)	賦課金の債務認識時点(5)	調整に関する税効果	その他		Mil USD	億円	
Assets												資産
Current assets	12,496								12,496	13,996		流動資産
Goodwill	6,578			340		77		1	-4,048	2,948	3,301	のれん
Other non-current assets	64,250		2,054		29					66,333	74,293	その他非流動資産
Total assets	83,324		2,054	340	29	77		1	-4,048	81,777	91,590	資産合計
Liabilities and shareholders' equity												負債及び資本
Current liabilities	11,571	104		38		71		9		11,793	13,209	流動負債
Non-current liabilities	52,738	-104		16	18		692	-2		53,358	59,760	非流動負債
Total liabilities	64,309			54	18	71	692	7		65,151	72,969	負債合計
Shareholders' equity	19,015		2,054	286	11	6	-692	-6	-4,048	16,626	18,621	資本
Total liabilities and shareholders' equity	83,324		2,054	340	29	77		1	-4,048	81,777	91,590	負債及び資本合計

※日本円への換算は6月末レート（112.00円/米ドル）を使用

- (1) 米国基準では非流動負債に計上されている不確実な税務ポジションに係る引当をIFRSでは流動負債として表示
- (2) スプリント（米国基準）ではReporting Unit（報告単位）をWireless・Wirelineに分けて、個別資産・資産グループごとに減損テストを実施し、2015年3月期に商標権（スプリントブランド）およびWirelineの有形固定資産で減損損失を認識。当社（IFRS）ではスプリント全体を1つのCGUとして資産全体で減損テストを実施し、減損損失を不認識
- (3) ネットワーク再編（iDEN, Clearwire等）費用は、米国基準では支払の発生可能性が高くなった時点で認識、IFRSでは計画が公表された時点で認識（IFRSでは支配獲得時に引当金として計上済み）
- (4) 米国基準では見積りキャッシュアウトフローが増加した場合にのみ資産除去債務の算定に用いる割引率を更新、IFRSでは期末日毎に割引率を更新
- (5) 賦課金（主に固定資産税）に係る負債/費用の認識時点が異なるため生じる差異であり、IFRSでは政府への支払義務が確定した時点で負債/費用を認識
- (6) のれん調整は、
  - ①スプリント買収に関連し、締結した為替予約のうち170億米ドルについてヘッジ会計を適用し、支配獲得日の為替予約の公正価値（3,081百万米ドル）を控除したことに伴う外貨のれん金額の修正（ベースアジャストメント）
  - ②非支配持分に係る外貨のれん金額の消去

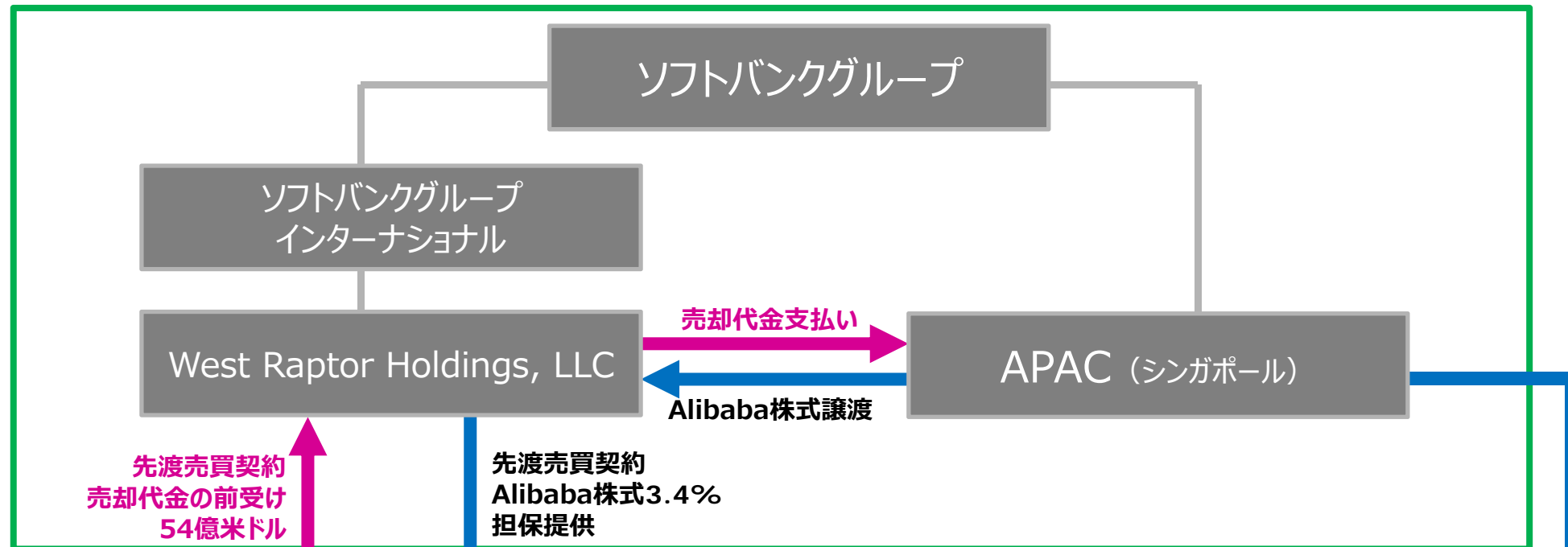
# アリババの持分法による投資利益

	アリババ		ソフトバンクグループ				
	U.S. GAAP	IFRS					
	(Mil CNY)					(億円)	
	純利益	IFRSへの修正 <sup>(1)</sup>	純利益	持分比率	持分法 投資利益	(参考) 為替レート	持分法 投資利益
FY16Q1	5,365 (1-3月)	1,434	6,799	約33%	2,216	16.64円/CNY	369
FY17Q1	10,646 (1-3月)	- 8,568 <sup>※</sup>	2,078	約30%	618	15.99円/CNY	99

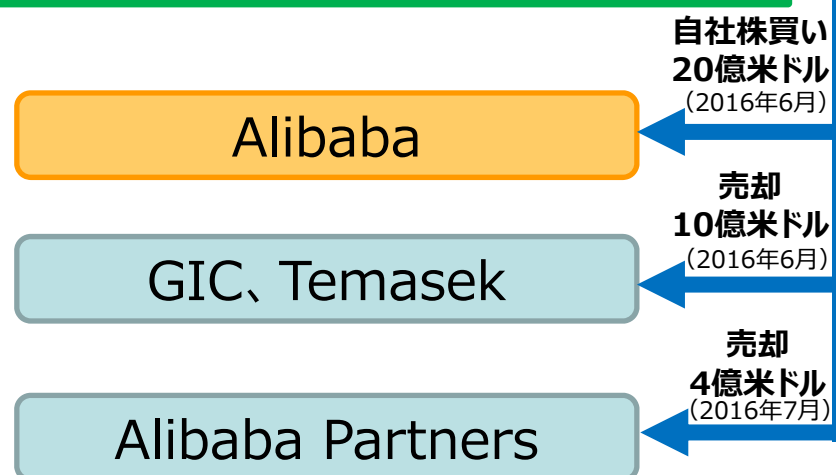
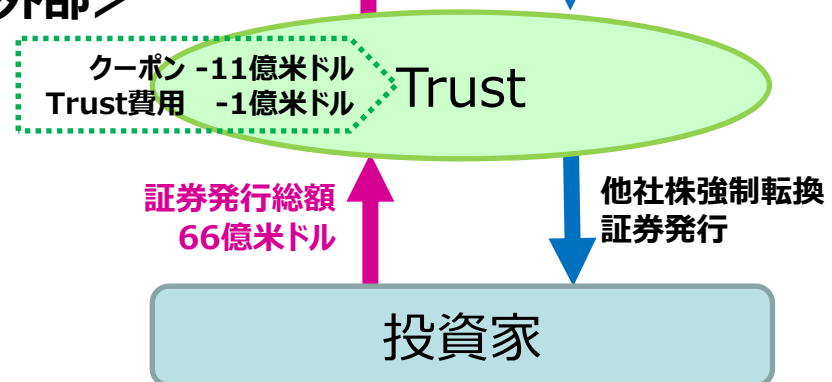
※ アリババ子会社の非支配持分（プット・オプションが付されているため金融負債）の公正価値の変動損失の計上、およびFVTPL金融資産の売却益に対するマイナス調整（IFRSでは過年度に当該FVTPL金融商品の評価益を計上）

# アリババ株式一部売却と先渡し売買契約

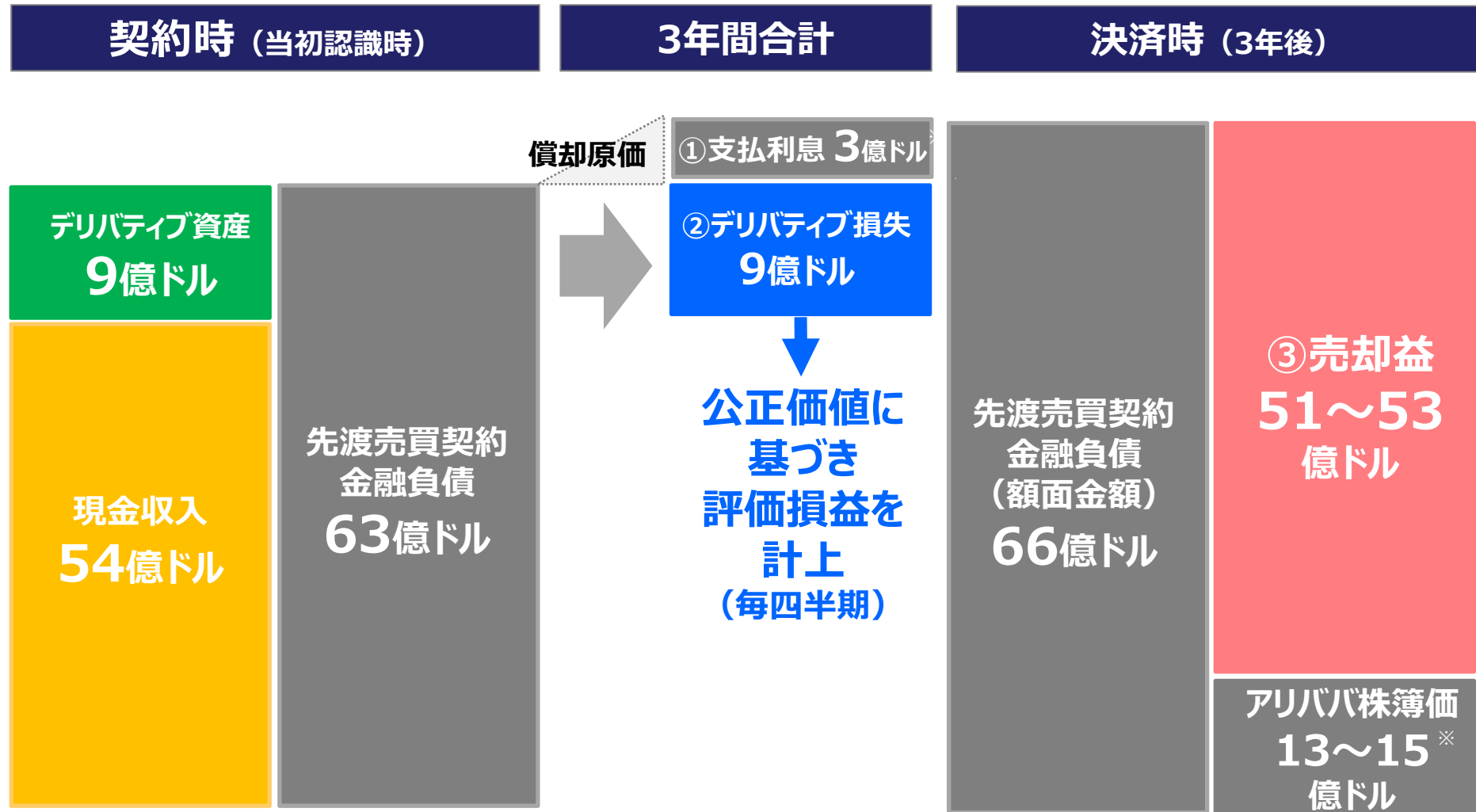
## <連結>



## <外部>



# アリババ株式の先渡売買契約



※決済株式数はアリババ株式の3年後の株価によって73百万株~86百万株の間で変動。アリババ株式の簿価および売却益は2017年6月末時点の連結簿価で試算

# アリババ株式先渡売買契約に係るデリバティブ損益

## 契約時

2016年6月1日

## 3年間のデリバティブ損益(19年6月まで)

FY16 Q1

FY16 Q2

FY16 Q3

FY16 Q4

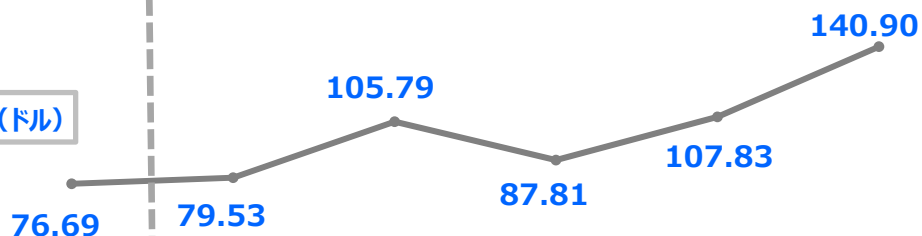
FY17 Q1

FY17Q1末までの  
デリバティブ損益  
累計

デリバティブ利益

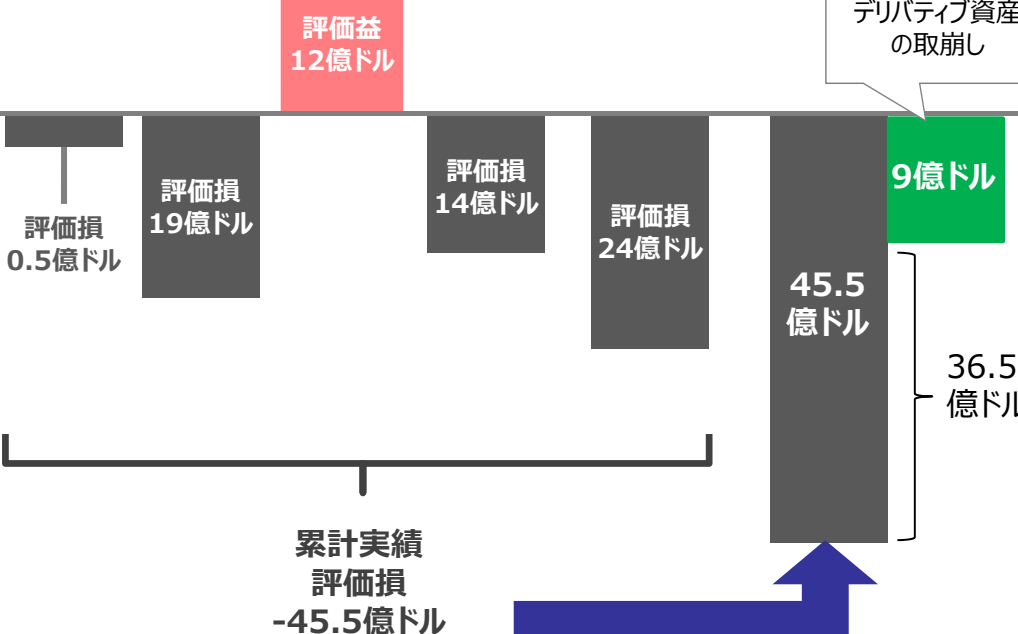
2019年6月  
売却益(見込み)

株価 (ドル)



デリバティブ資産

9億ドル



デリバティブ資産  
の取崩し

9億ドル

45.5  
億ドル

36.5  
億ドル

36.5  
億ドル

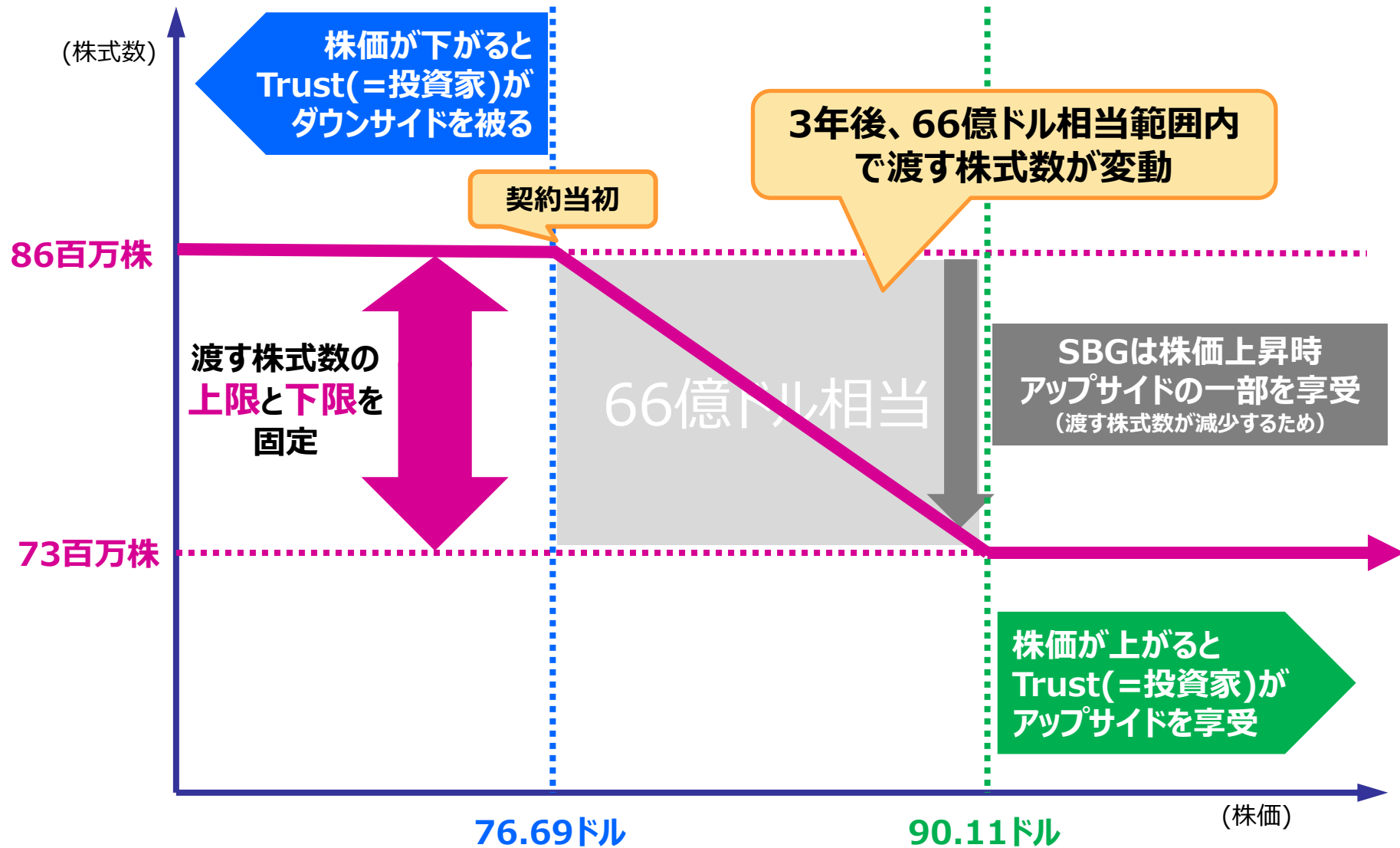
50億  
ドル

合計利益  
86.5億ドル

※金額は、税効果考慮前



# 先渡し売買契約に含まれるカラー取引



# SBG・SBGCによる投資<sup>\*</sup>の公正価値の評価損益（子会社・持分法以外）

## (1) FVTPL (Fair Value Through Profit or Loss) の金融資産

毎四半期末に公正価値の変動額を「純損益」で認識

(億円)	FY17Q1
<b>FVTPLの金融商品から生じる損益</b>	253

主な銘柄：  
Jasper Infotech (Snapdeal)、ANI Technologies (Ola)、  
Grab (Grab Taxi)

FVTPLの金融商品から生じる損益	253億円
税効果	-98億円
-----	
純利益に与える影響額	155億円

## (2) FVTOCI (Fair Value Through Other Comprehensive Income) の金融資産

毎四半期末に公正価値の変動額を「その他の包括利益」で認識

(億円)	FY17Q1
<b>その他の包括利益</b>	250

主な銘柄：  
Xiaoju Kuaizhi (Didi Chuxing)、Forward Ventures  
(Coupang)

その他の包括利益（税引前）	250億円
税効果	-51億円
-----	
その他包括利益（税引後）	199億円

\*SVFへ移管される可能性のある投資を含む。

# (参考) アーム買収に係るPPA

## PPA完了後

のれん  
2.65兆円  
(192億ポンド)

テクノロジー 5,429億円  
(39億ポンド)

償却年数 8-20年

顧客基盤 1,486億円  
(11億ポンド)

償却年数 13年

商標権 59億円(0.4億ポンド)

償却年数 8年

その他資産及び負債(純額)  
229億円(1.7億ポンド)

年間償却額  
3.7億ポンド

開始B/S

※ 為替換算レート：1英ポンド = 138.15円



# 財務編

# 2017年度 主な財務活動

カテゴリ	イベント	金額	時期
投資 関連	SoftBank Vision Fund (SVF) の初回クロージング	LPとの合同出資コミットメント額930億米ドル超 (うち当社コミットメント額280億米ドル) (※1)	2017年5月
	当社からの全部または一部の移管が決定した投資先： NVIDIA Corporation, Guardant Health, Inc.等	総額4,833億円 (SVFからの投資として連結 財務諸表に計上する金額)	
	Xiaoju Kuaizhi Inc. (Didi) への出資 (全部又は一部についてSVF等への移管を計画)	50億米ドル	2017年5月まで
調達 関連	米ドル建ハイブリッド社債(永久劣後) 発行 NC6年  NC10年	27.5億米ドル (3,113億円)  17.5億米ドル (1,981億円)	2017年7月

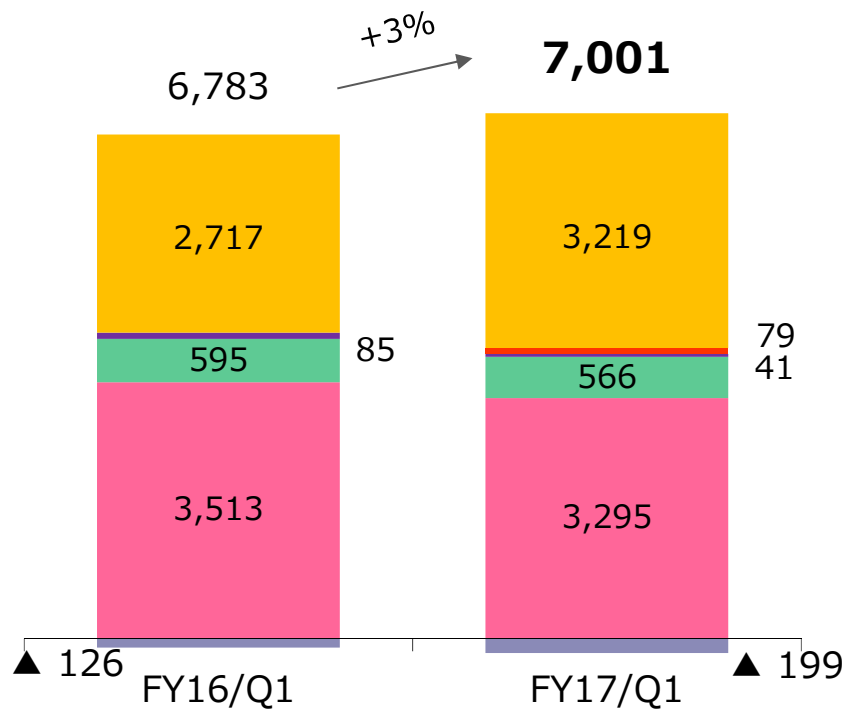
(※1) うち約82億米ドルについては、当社が保有するARM株を現物出資することにより、出資を履行する予定。

# 調整後EBITDA・調整後EBITDAマージン①

## スプリントの大幅なEBITDA改善が連結EBITDAに貢献

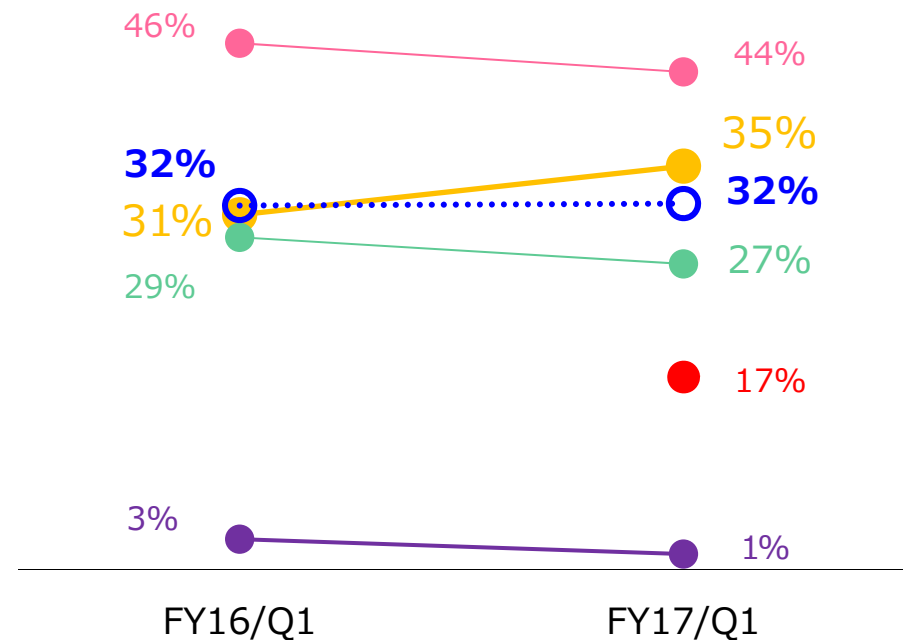
### 調整後EBITDA

- (億円)
- 国内通信
  - ヤフー
  - 流通
  - アーム
  - スプリント
  - その他 (SVF含む)



### 調整後EBITDAマージン

- 国内通信事業
- スプリント事業
- ヤフー事業
- 流通事業
- アーム事業
- 連結



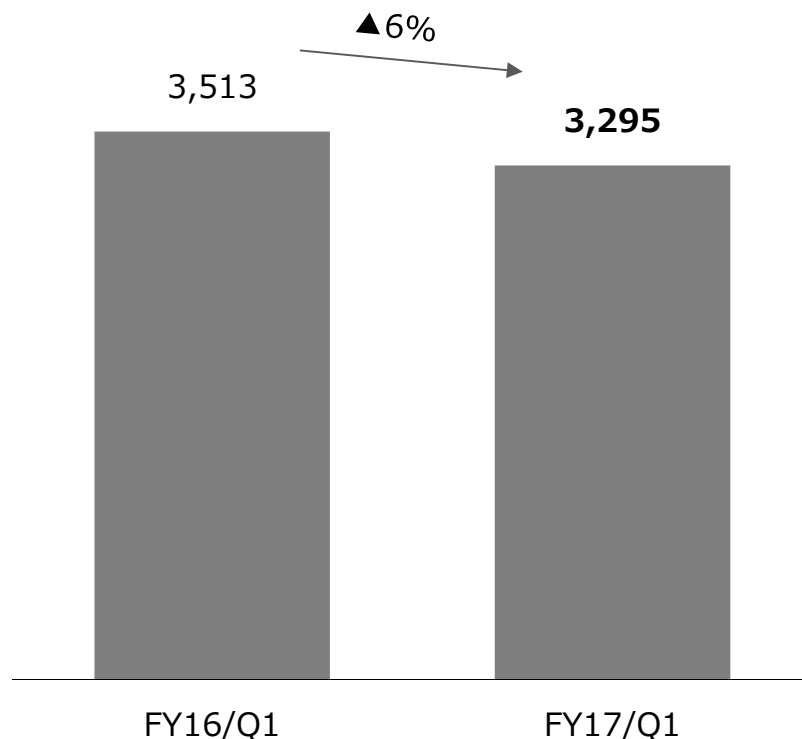
(※1) 従来EBITDAとして開示してきた金額を調整後EBITDAとして開示  
 (※2) 調整後EBITDA=セグメント利益(損失)+減価償却費及び償却費±その他の調整項目  
 SVF事業の調整後EBITDAは、上記に未実現評価損益を加減算(利益は減算)して算出  
 (※3) 調整後EBITDAマージン=調整後EBITDA÷売上高  
 (※4) アーム事業は2016年9月6日から反映

# 調整後EBITDA・調整後EBITDAマージン②

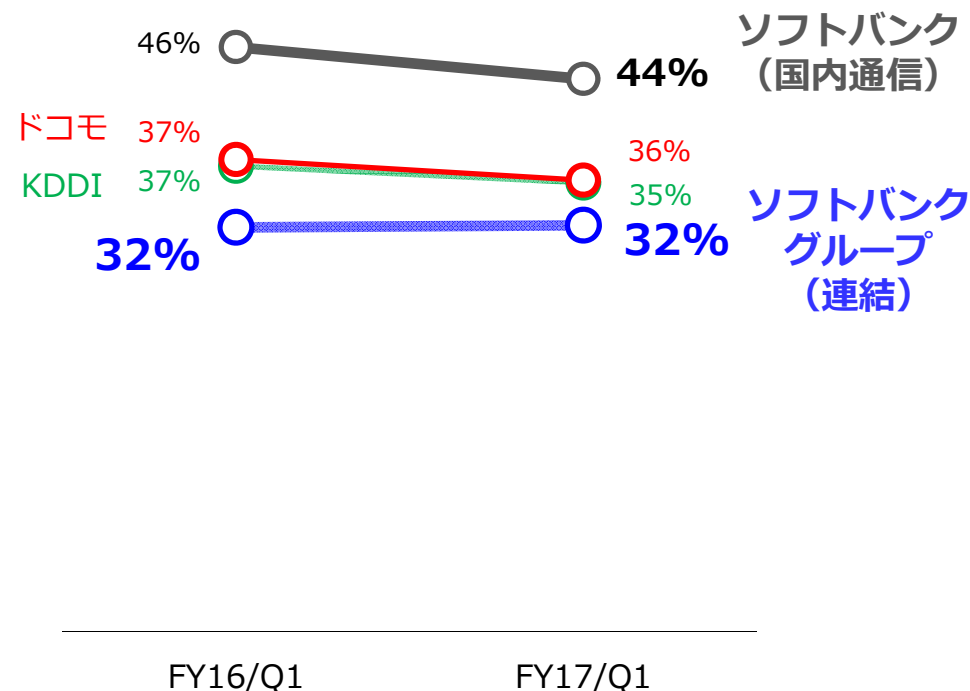
## 国内通信事業は高水準の利益率を維持

### 調整後EBITDA（国内通信事業）

(億円)



### 調整後EBITDAマージン

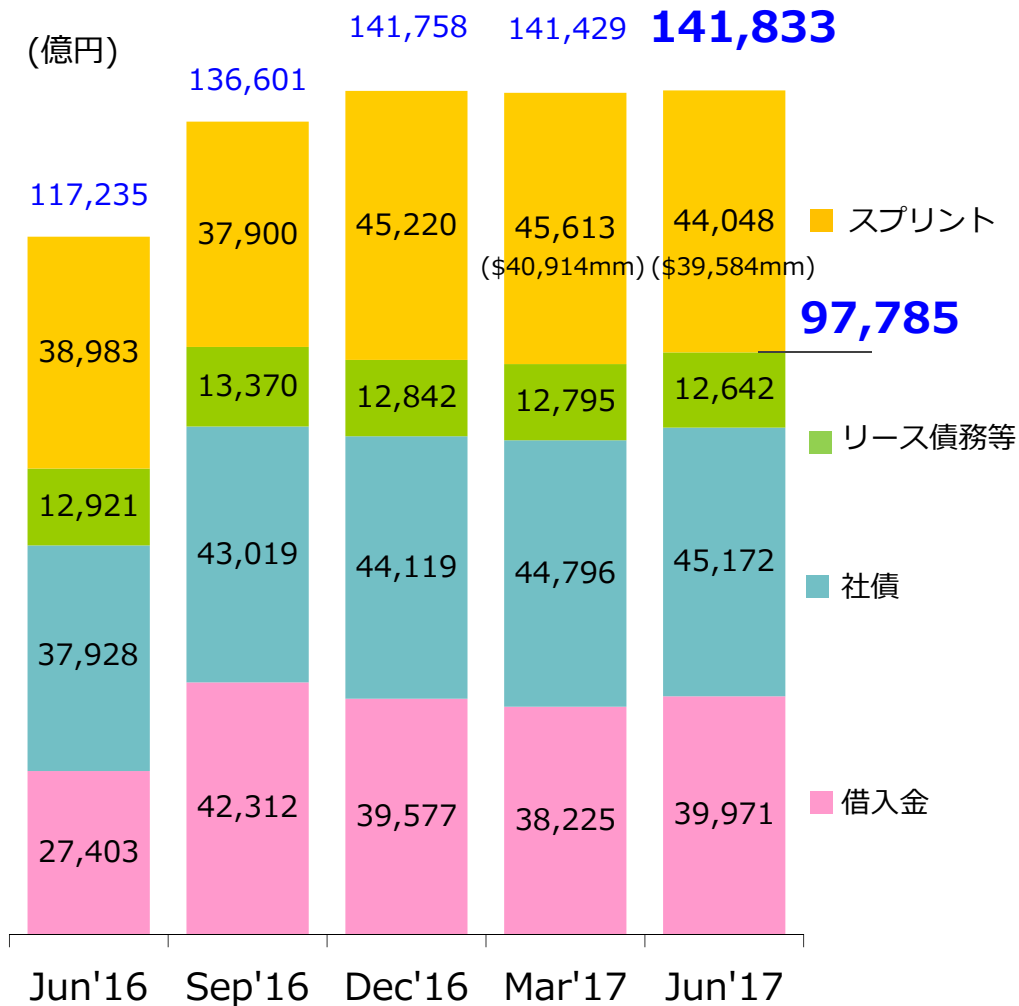


- (※1) 従来EBITDAとして開示してきた金額を調整後EBITDAとして開示
- (※2) 調整後EBITDA = セグメント利益 (損失) + 減価償却費及び償却費 ± その他の調整項目  
SVF事業の調整後EBITDAは、上記に未実現評価損益を加減算(利益は減算)して算出
- (※3) 調整後EBITDAマージン = 調整後EBITDA ÷ 売上高
- (※4) (出所) 各社開示資料：ドコモは米国基準、KDDIはIFRSに準拠。



# 有利子負債

## ARM買収から大きな変動なく推移



スプリント有利子負債内訳	(億円)	主な増減要因
借入金	13,938	
社債	29,780	期限前償還▲1,893
その他	330	
合計	44,048	

社債内訳	(億円)	
国内社債	23,537	
国内劣後社債	13,024	
(内、ハイブリッド債)	(4,629)	
外債 (SBG)	8,611	
合計	45,172	

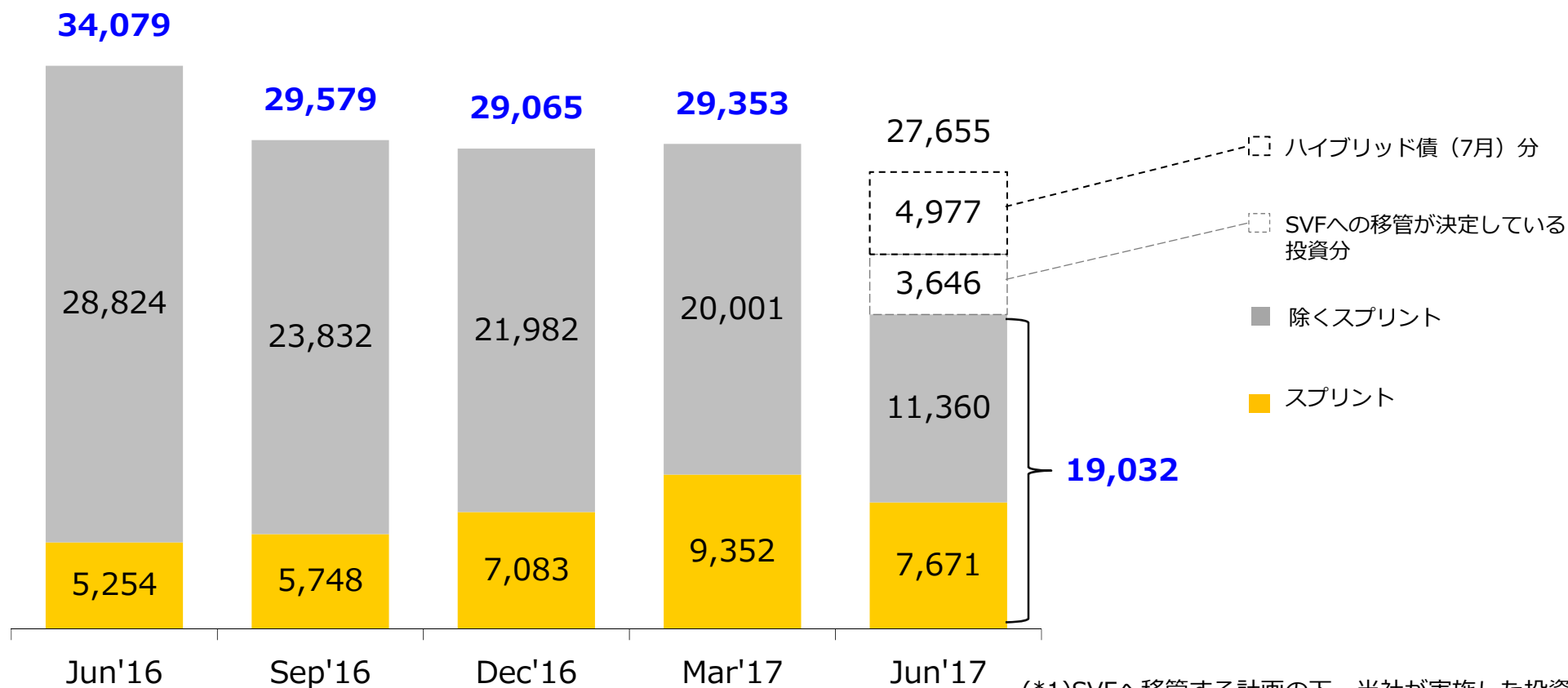
借入金内訳	(億円)	
Sprint買収ローン	14,709	
ARM買収ローン	9,920	
債権流動化	5,588	
その他	9,754	短期借入+1,784
合計	39,971	

(※) Alibaba株式に係る株式先渡契約金融負債は有利子負債から控除

# 手元流動性

SVFのためのブリッジ投資\*1や、税金支払(2,507億円)、スプリントによる社債償還(1,893億円)等により一時的に減少

(億円)

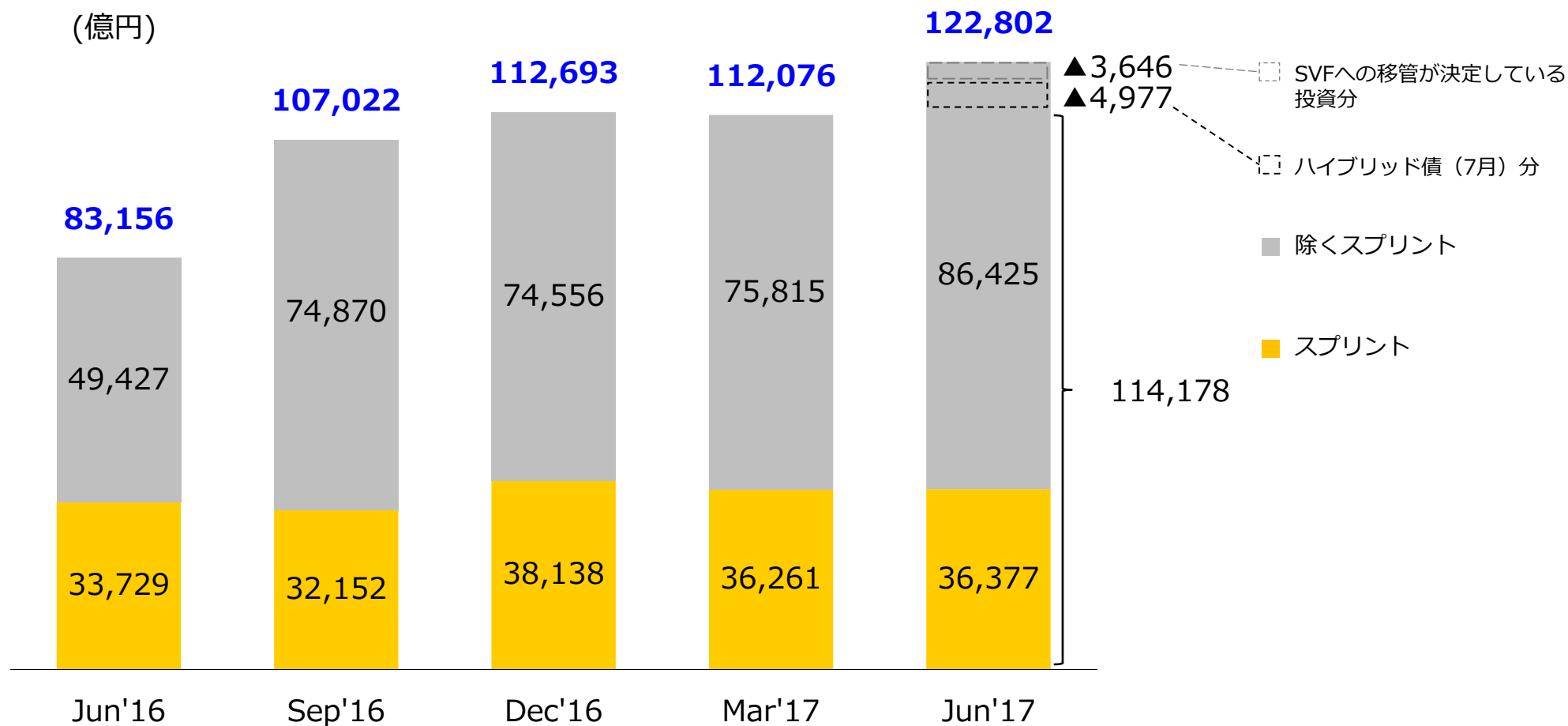


(\*1)SVFへ移管する計画の下、当社が実施した投資。SVFからの資金回収は移管完了後に行われる。連結BS上はSVFからの投資として計上。

(手元流動性 = 現金及び現金同等物 + 流動資産に含まれる短期投資)

# 純有利子負債

SVFのためのブリッジ投資や、税金支払(2,507億円)等により微増



(※1) 純有利子負債 = 有利子負債 - 手元流動性

(※2) Alibaba株式に係る株式先渡契約金融負債は有利子負債から控除

# 外貨建てハイブリッド債発行

国内事業会社による初の外貨建てハイブリッド債の発行。  
総額45億米ドル（約5,000億円）の大型調達に成功。

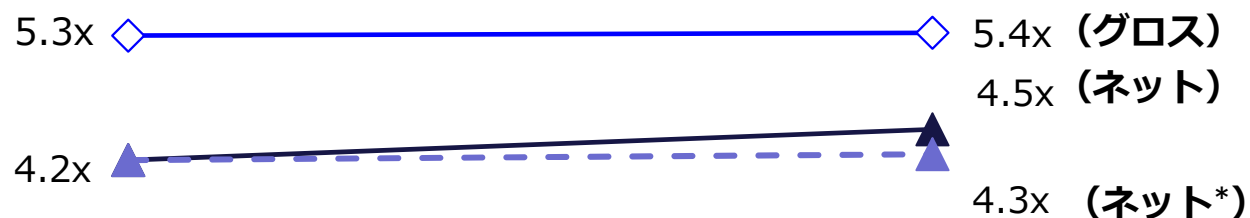
		外貨建てハイブリッド債		(参考) 国内ハイブリッド債
発行時期		2017年7月		2016年9月
年限		永久債 ノンコール6年	永久債 ノンコール10年	25年NC5 27年NC7
金額		27.5億米ドル (3,113億円※1)	17.5億米ドル (1,981億円※1)	合計4,710億円
利率		6.000% (円換算ベース3.15%※2)	6.875% (円換算ベース3.61%※2)	3.016% (平均)
資本性	会計(IFRS)	資本		負債
	格付(S&P, JCR)	50%		50%

(※1) 1ドル=113.20円にて換算

(※2) 円換算ベースは、2017年7月12日時点の市場データに基づき、米ドル建利率を円建利率にスワップした場合の数値（スワップコスト等は考慮せず）

## 実質的に変動なく推移

### レバレッジ・レシオ（グロス/ネット）



\*ハイブリッド債（7月）の資本性（50%）  
および当社がSVFへの移管を計画している  
投資の回収を反映したケース

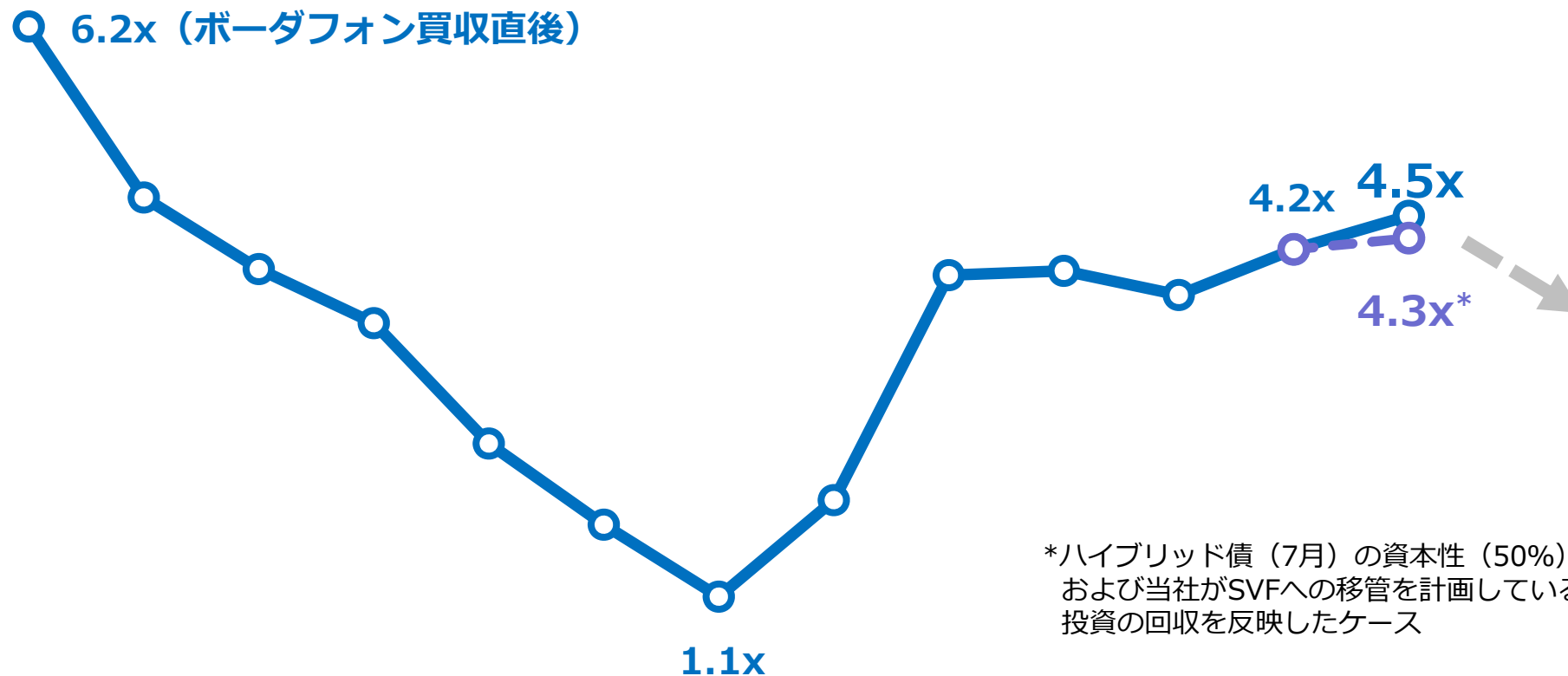
Mar'17

Jun'17

- (※1) グロスレバレッジ・レシオ=有利子負債÷調整後EBITDA
- (※2) ネットレバレッジ・レシオ=純有利子負債÷調整後EBITDA
- (※3) 調整後EBITDAは直近12ヶ月の年換算（LTM）で算出
- (※4) Alibaba株式に係る株式先渡契約金融負債は有利子負債から控除。ハイブリッド債で調達した金額の50%を資本とみなして算出。
- (※5) Supercell売却による収入、および当社からSVFへの移管が決定されている投資の回収代金を手元流動性として考慮。

# ネットレバレッジ（連結）

## レバレッジの改善に中期的に注力



Jun'06 Mar'07 Mar'08 Mar'09 Mar'10 Mar'11 Mar'12 Mar'13 Mar'14 Mar'15 Mar'16 Mar'17 Jun'17

- (※1) ネットレバレッジ・レシオ=純有利子負債÷調整後EBITDA
- (※2) 2011年度まで：日本基準、ファイナンス・リースおよび優先出資証券含む
- (※3) 2014年度の調整後EBITDAは、ガンホーの持分法適用関連会社への異動に伴う遡及修正をした数値。2015年の調整後EBITDAにはSupercellを含む
- (※4) アームの調整後EBITDAは年換算
- (※5) Supercell売却による収入、および当社からSVFへの移管が決定されている投資の回収代金を手元流動性として考慮。
- (※6) 株式先渡契約金融負債を有利子負債から除いて算出。ハイブリッド債で調達した金額の50%を資本とみなして算出。

## 国内通信事業

 SoftBank  
(Sprint買収資金を含む)

純有利子負債 3.5兆円  
調整後EBITDA 1.2兆円 = **2.9倍**

## その他事業

   
   
など

純有利子負債 4.4兆円  
保有株式価値 20.4兆円 = **21%**

(※ 1) 純有利子負債 2017年6月末時点。調整後EBITDA 2017年度Q1の直近12カ月。保有株式時価 2017年8月4日時点。為替 1ドル=111.00円(2017年8月4日)。  
(※ 2) ハイブリッド債(2016年9月、2017年7月発行)の資本性を50%考慮後。  
SBGブリッジ投資の回収考慮後(SVFへの移管が決定または当社がSVFへの移管を計画しているものを含む)。

# 国内通信レバレッジ、負債カバー率（詳細）

国内通信

2.9倍

国内通信  
純有利子負債  
(+ Sprint買収資金)

3.5兆円

国内通信  
調整後EBITDA

1.2兆円

その他事業

21%

純有利子負債（連結）	+ 12.3兆円
– 純有利子負債（Sprint, YJ, 国内通信）	▲ 6.7兆円
– SBGブリッジ投資回収 （移管決定および計画しているもの）	▲ 0.7兆円
– ハイブリッド債50%（7月発行分含む）	▲ 0.5兆円

**純有利子負債 合計4.4兆円**

上場株式時価 （Alibaba, Sprint, YJ, その他）	+ 15.6兆円
ARM（買収時）	+ 3.5兆円
非上場株式価値（公正価値）*	+ 1.2兆円

**保有株式価値 合計20.4兆円**

\* 保有非上場株式のうち、2017年6月末時点でFVTPLおよびFVTOCIにて計上されている投資先のB/S簿価の合計



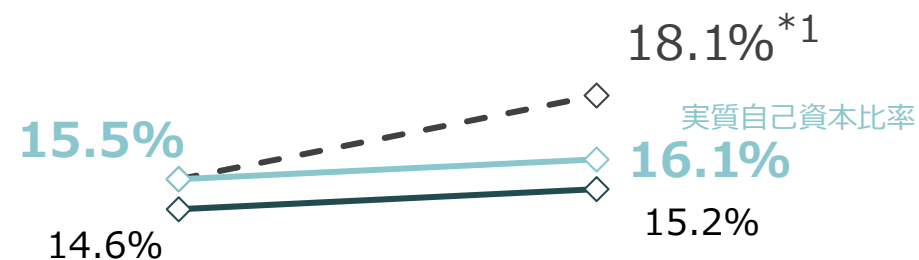
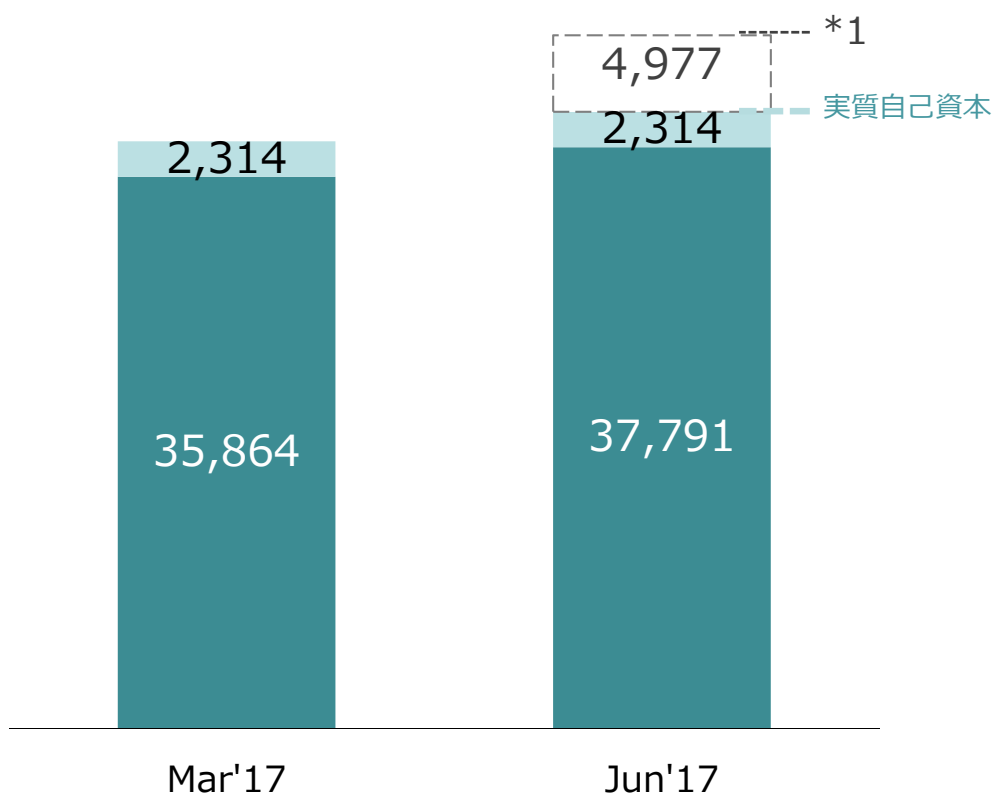
# 自己資本比率

## 自己資本は堅調に推移

### 自己資本

### 自己資本比率

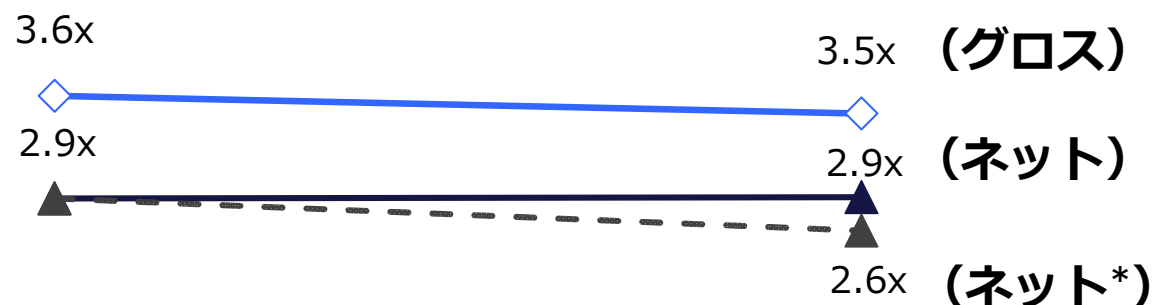
(億円)



\*1 外貨建てハイブリッド債の影響を反映した場合

(※) 自己資本=親会社の所有者に帰属する持分(ハイブリッド債発行による調整を含む)

## デット・エクイティ・レシオ（グロス/ネット）



\*ハイブリッド債（7月）の資本性（50%）  
および当社がSVFへの移管を計画している  
投資の回収を反映したケース

Mar'17

Jun'17

- (※1) デット・エクイティ・レシオ=有利子負債÷親会社の所有者に帰属する持分(ハイブリッド債発行による調整を含む)
- (※2) ネット・デット・エクイティ・レシオ=純有利子負債÷親会社の所有者に帰属する持分(ハイブリッド債発行による調整を含む)
- (※3) Alibaba株式に係る株式先渡契約金融負債は有利子負債から控除
- (※4) Supercell売却による収入、および当社からSVFへの移管が決定されている投資の回収代金を手元流動性として考慮。

# 支払利息

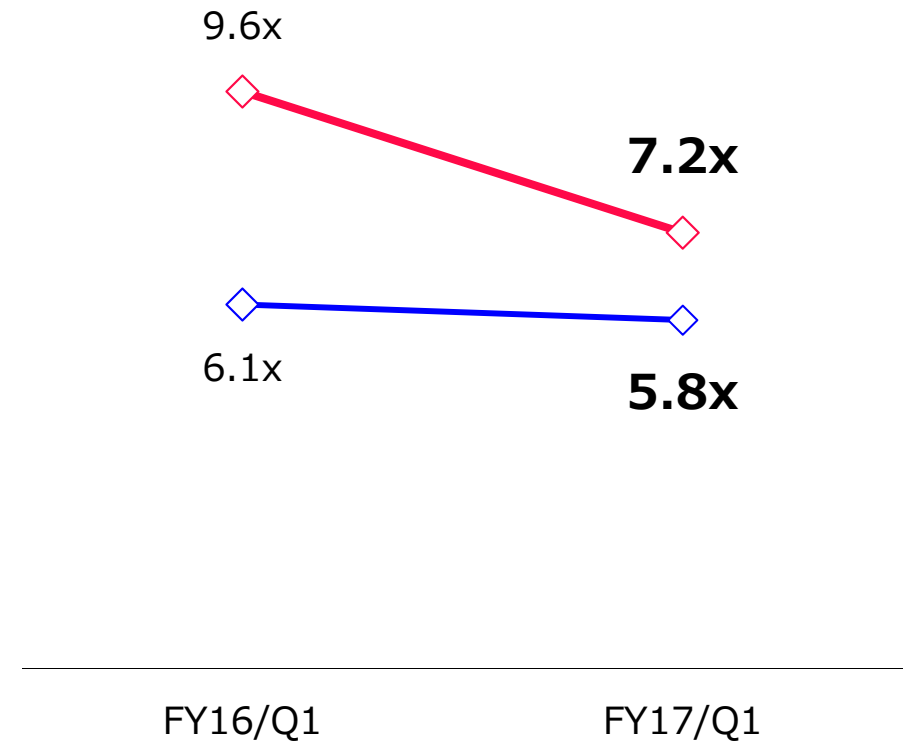
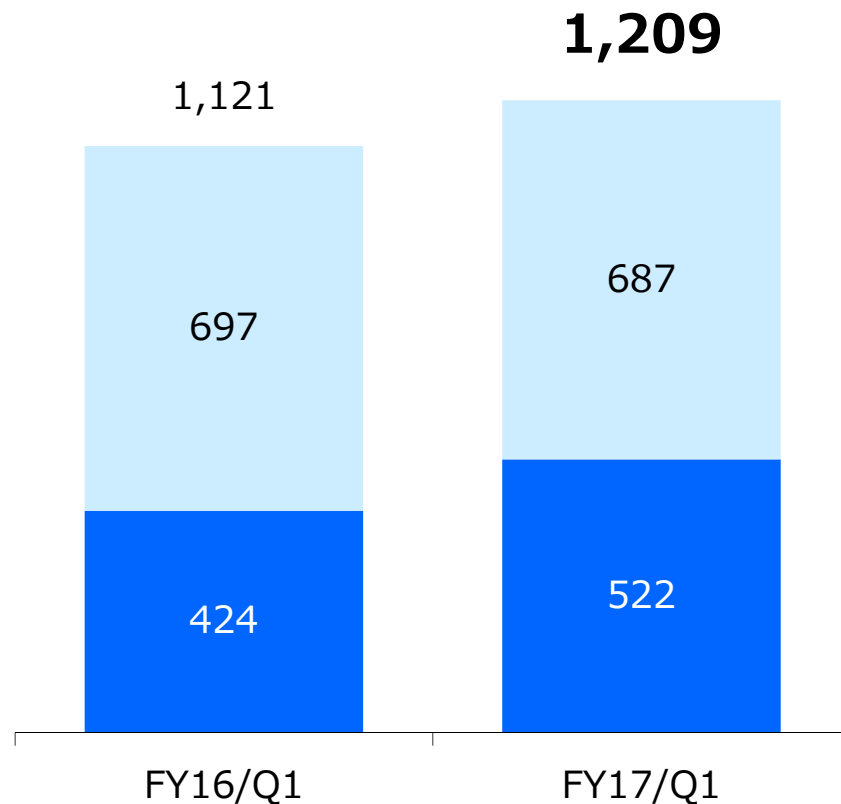
## ARM買収により前年同期比で支払利息が増加

### 支払利息（財務費用）

### インタレスト・カバレッジ・レシオ

(億円) ■ 除くスプリント ■ スプリント

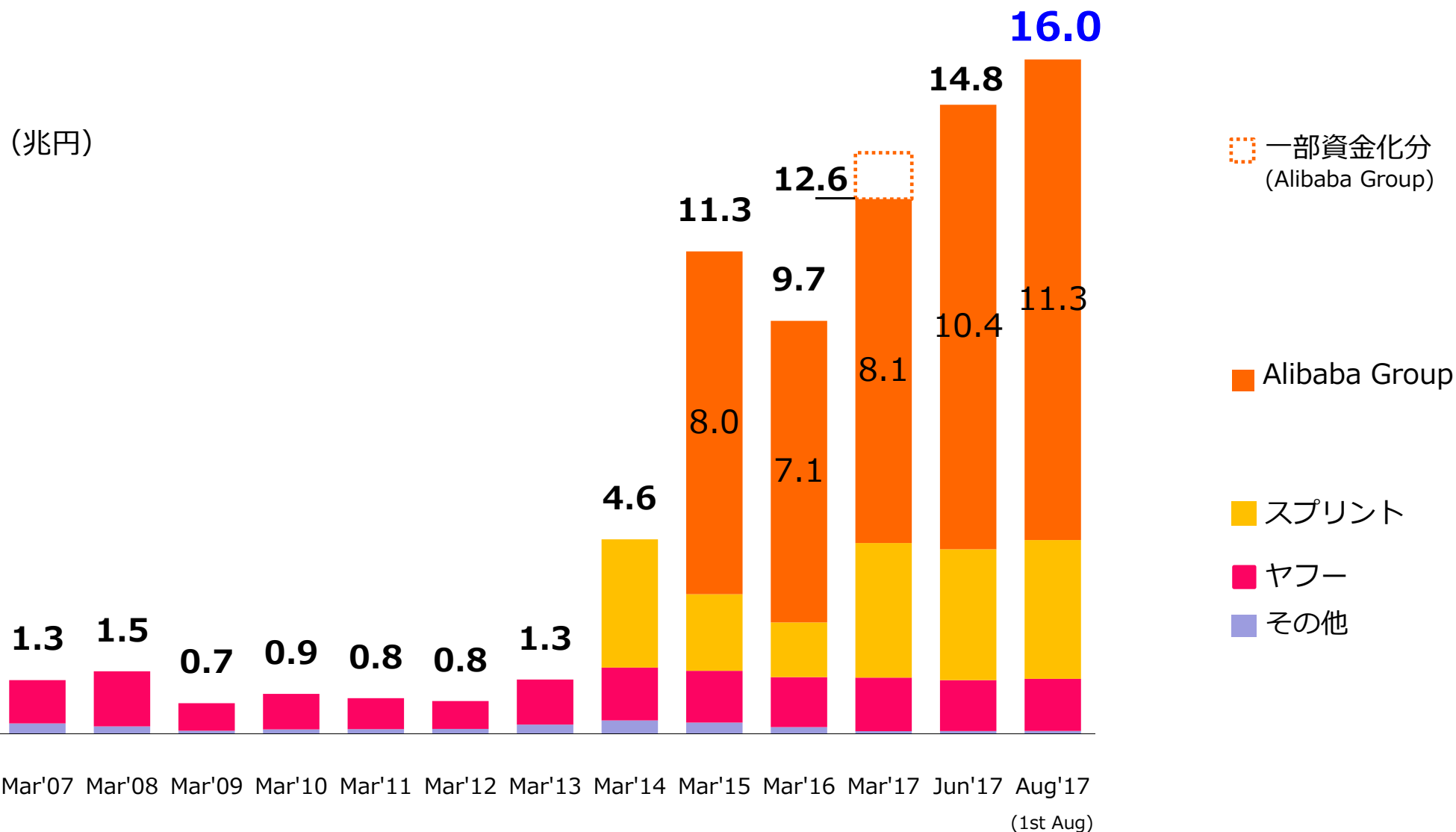
◇ 除くスプリント ◇ 連結



(※1) インタレスト・カバレッジ・レシオ = 調整後EBITDA ÷ 支払利息（財務費用）

# 保有上場株式時価総額（当社および当社完全子会社保有分）

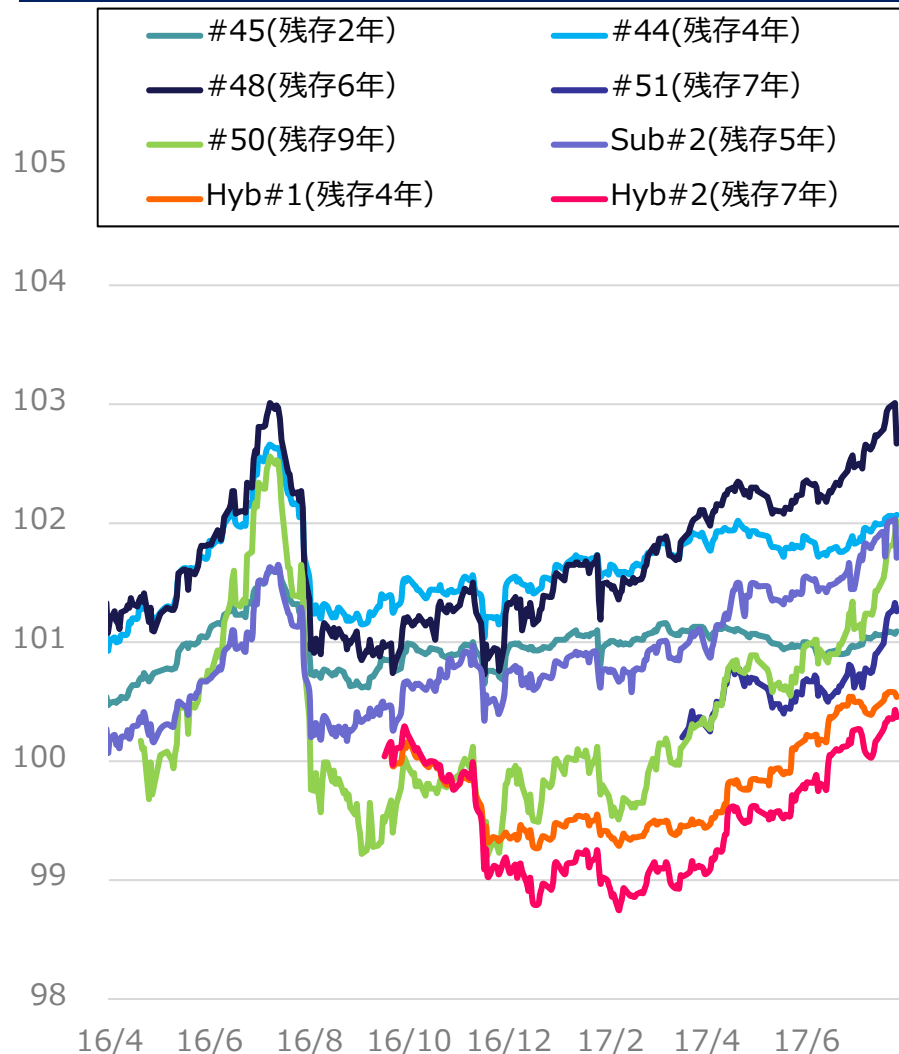
## 16兆円の上場株式を保有



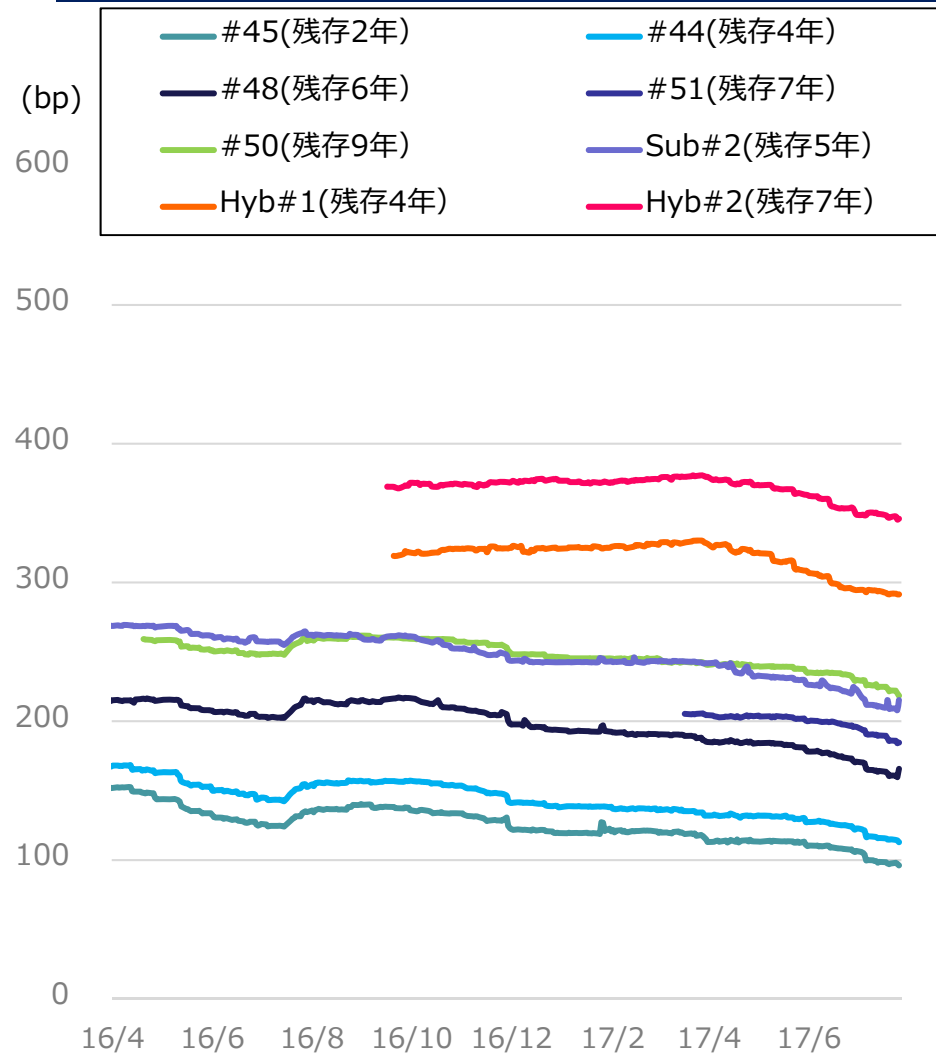
(※1) 各月末日時点終値にて当社算出

# SBG 国内社債価格・スプレッド

## 国内債価格



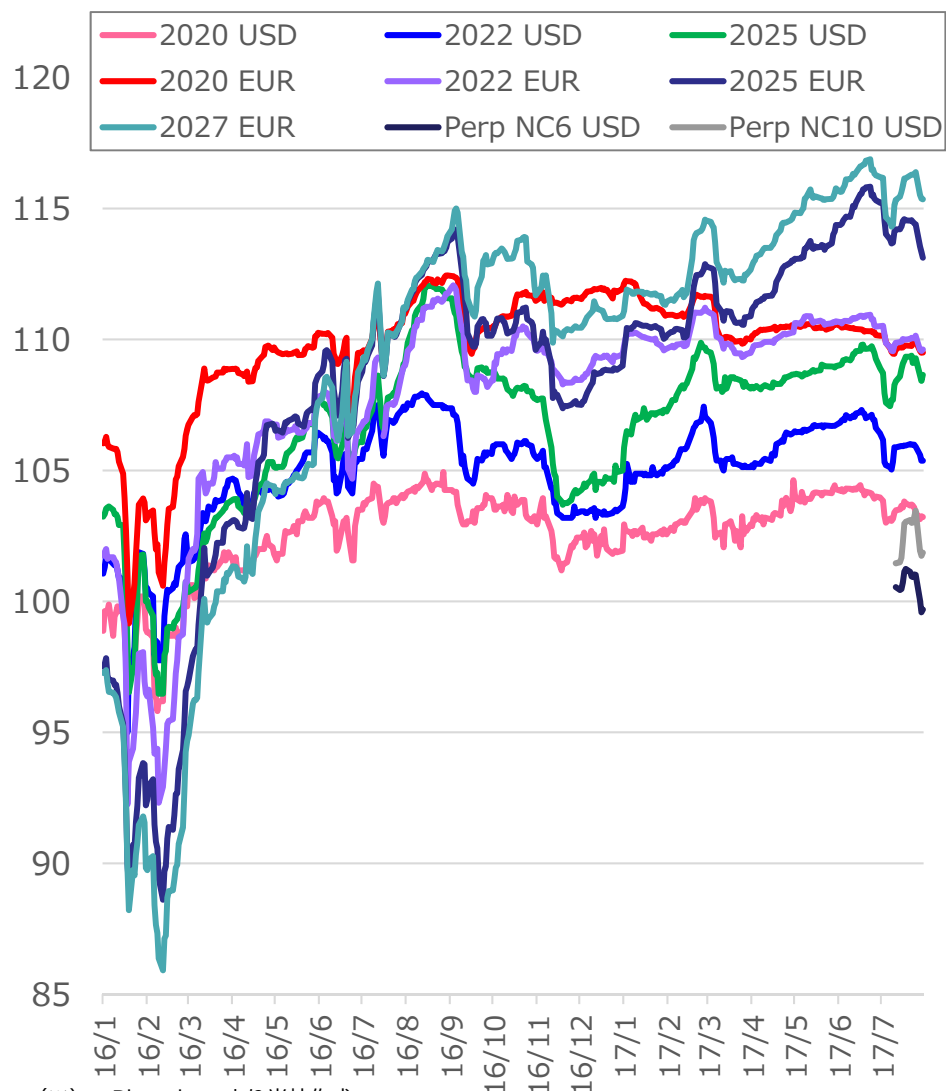
## 国内債スプレッド



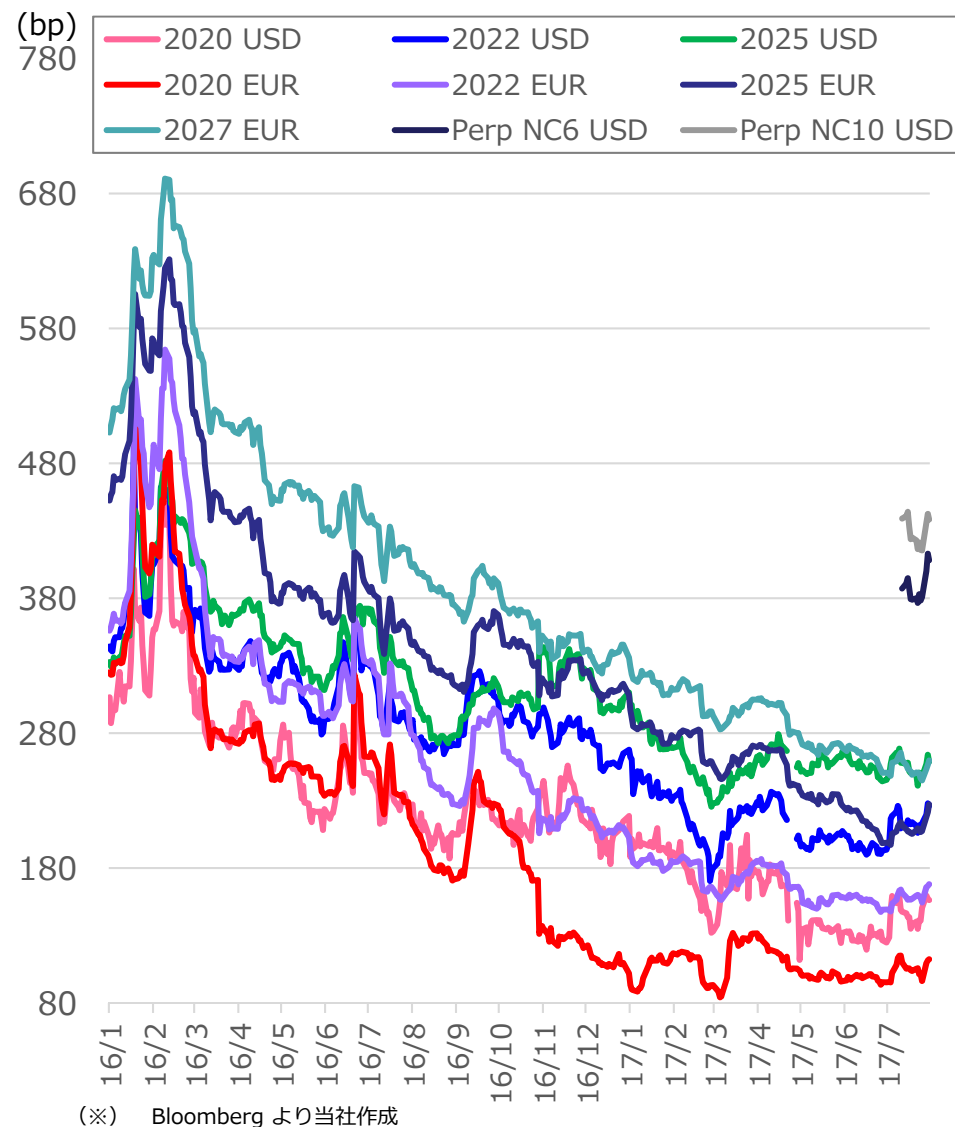
(※) Bloombergより当社作成  
ハイブリッド債：残存年数は初回コールまでの年数、スプレッドはLスプレッド

# SBG 外債価格・スプレッド

## SBG 外債価格

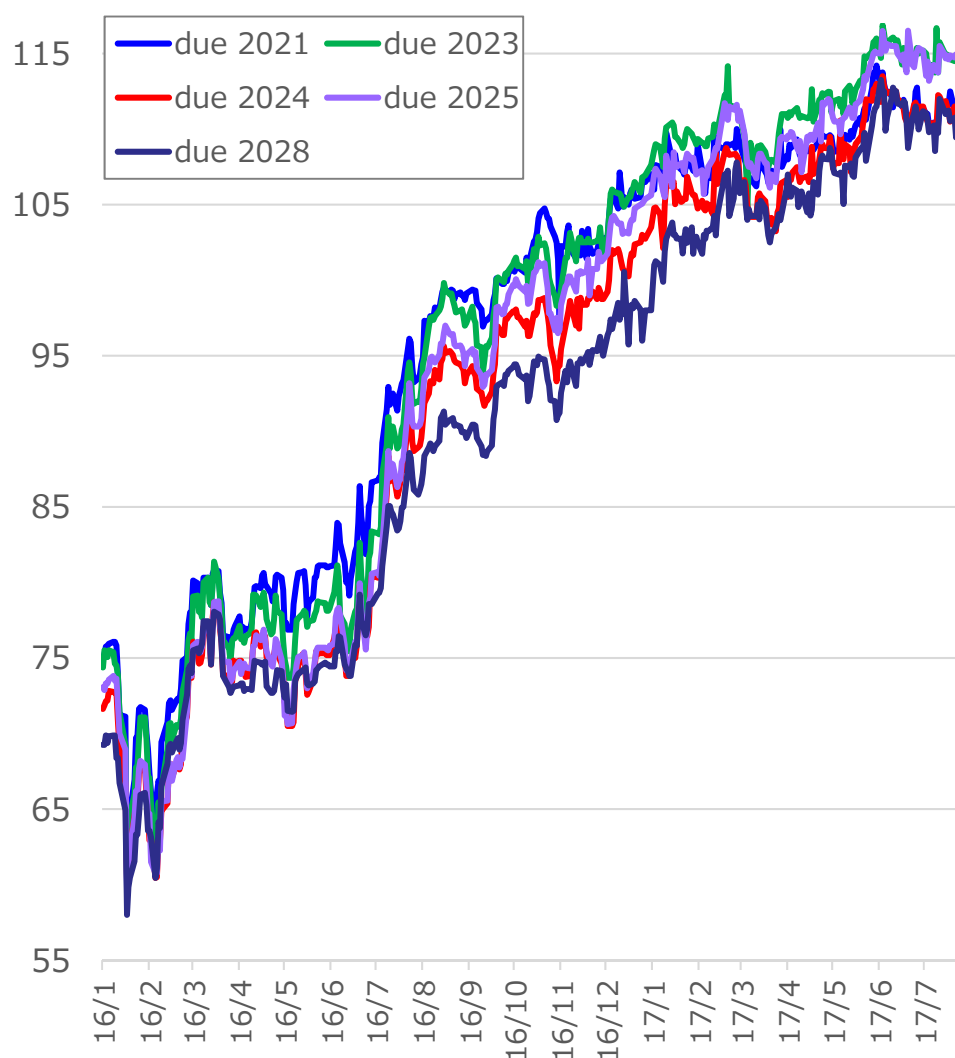


## SBG 外債スプレッド



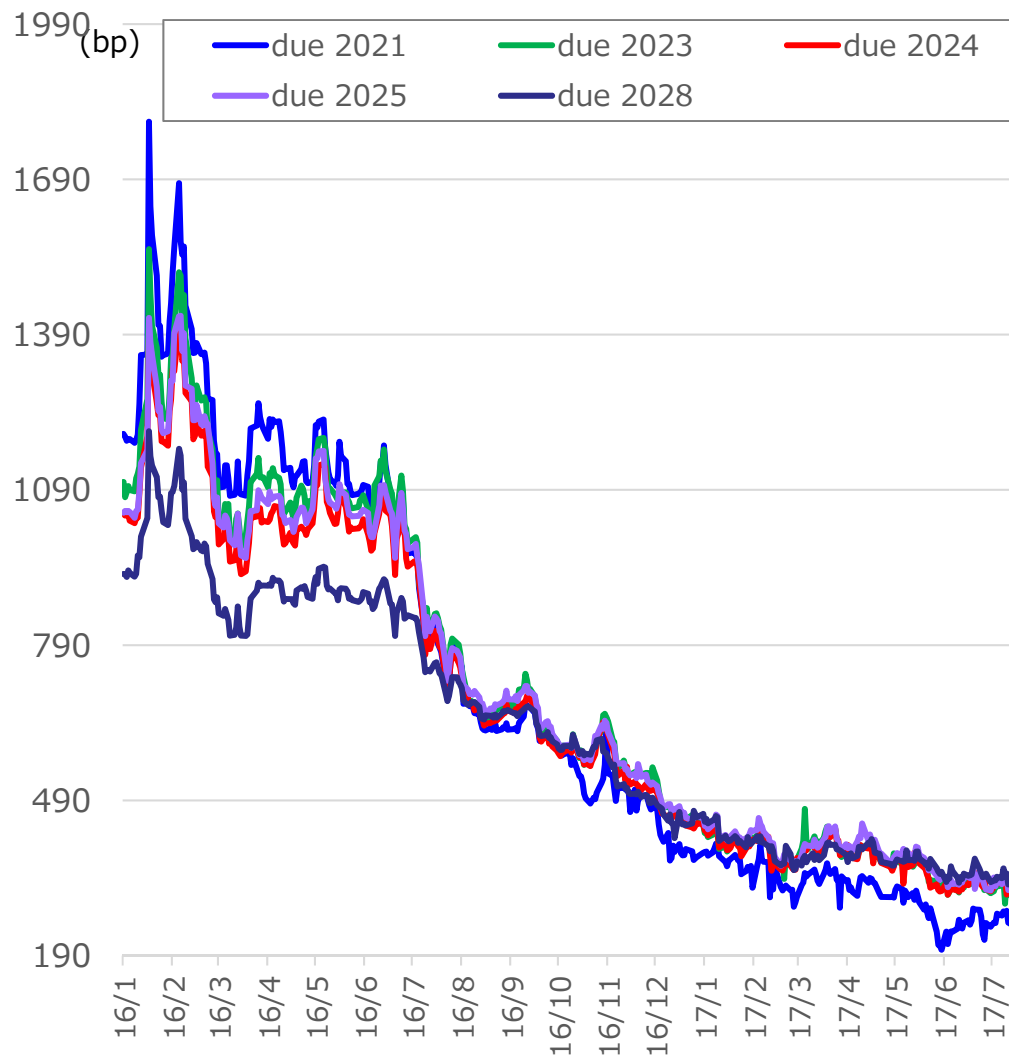
# Sprint 社債価格・スプレッド

## Sprint Senior Notes 価格



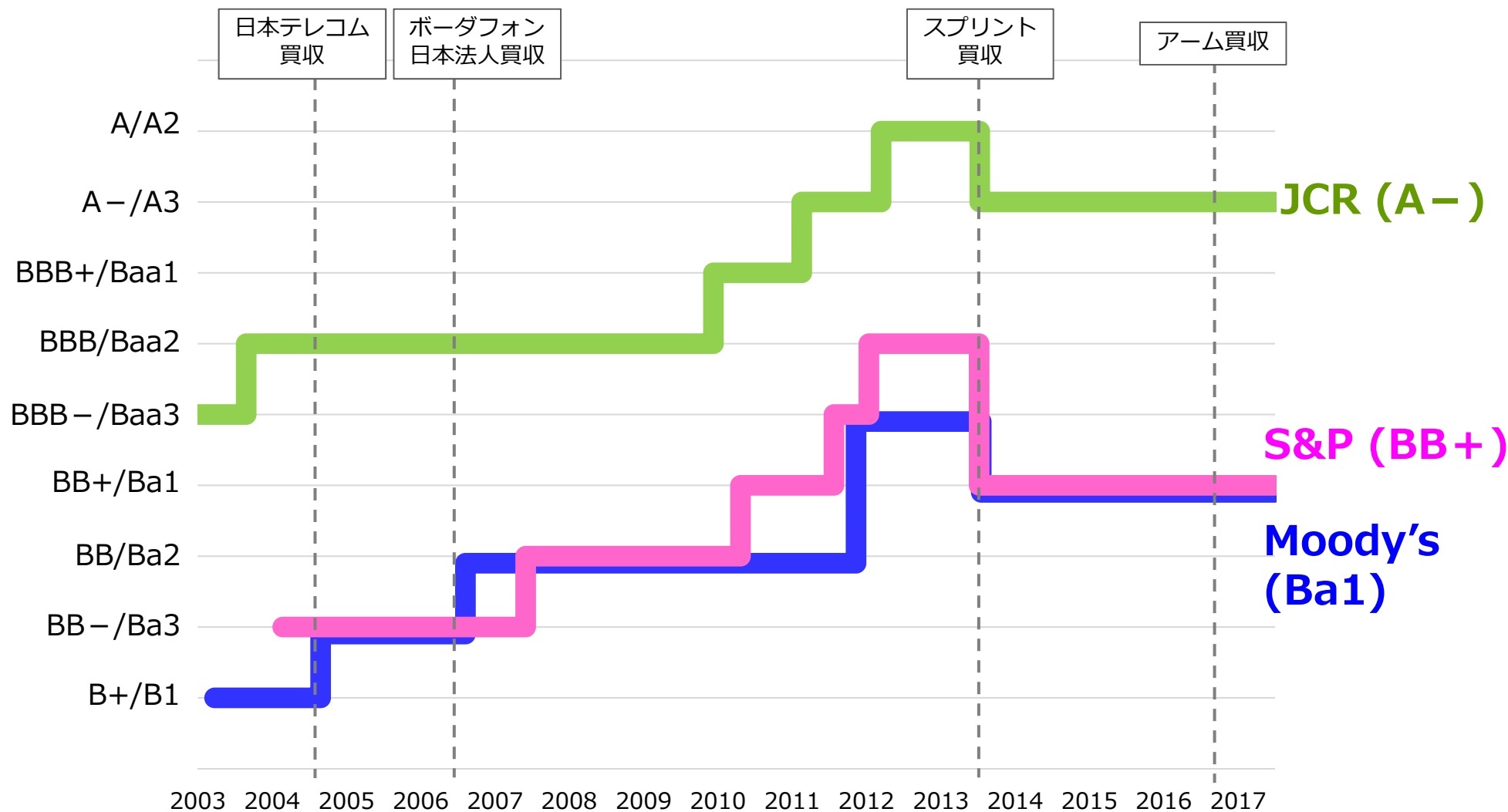
(※) Bloomberg より当社作成

## Sprint Senior Notes スプレッド



(※) Bloomberg より当社作成

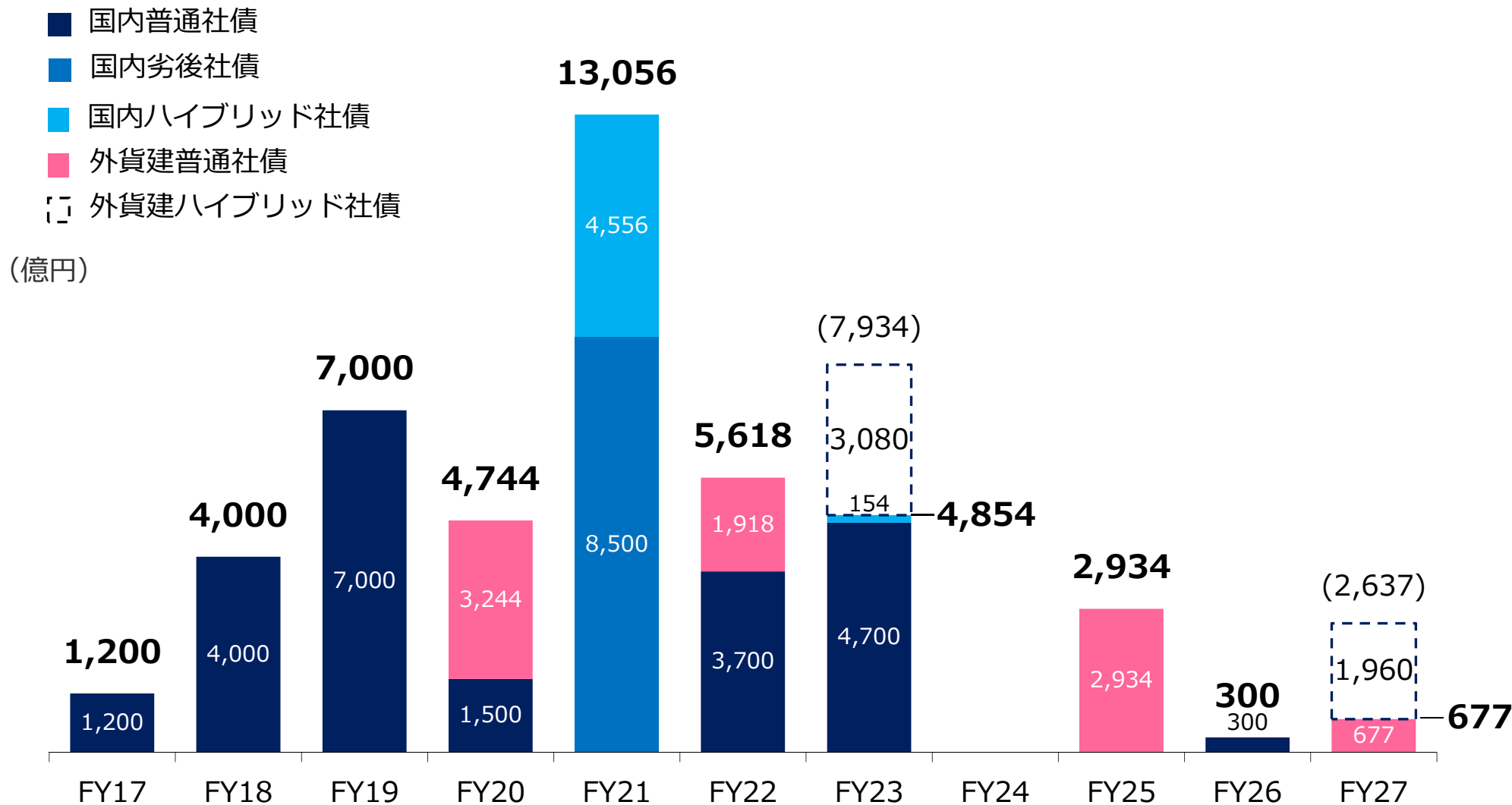
# ソフトバンクグループの格付推移



(※) 暦年で作成



# ソフトバンクグループ 社債償還スケジュール



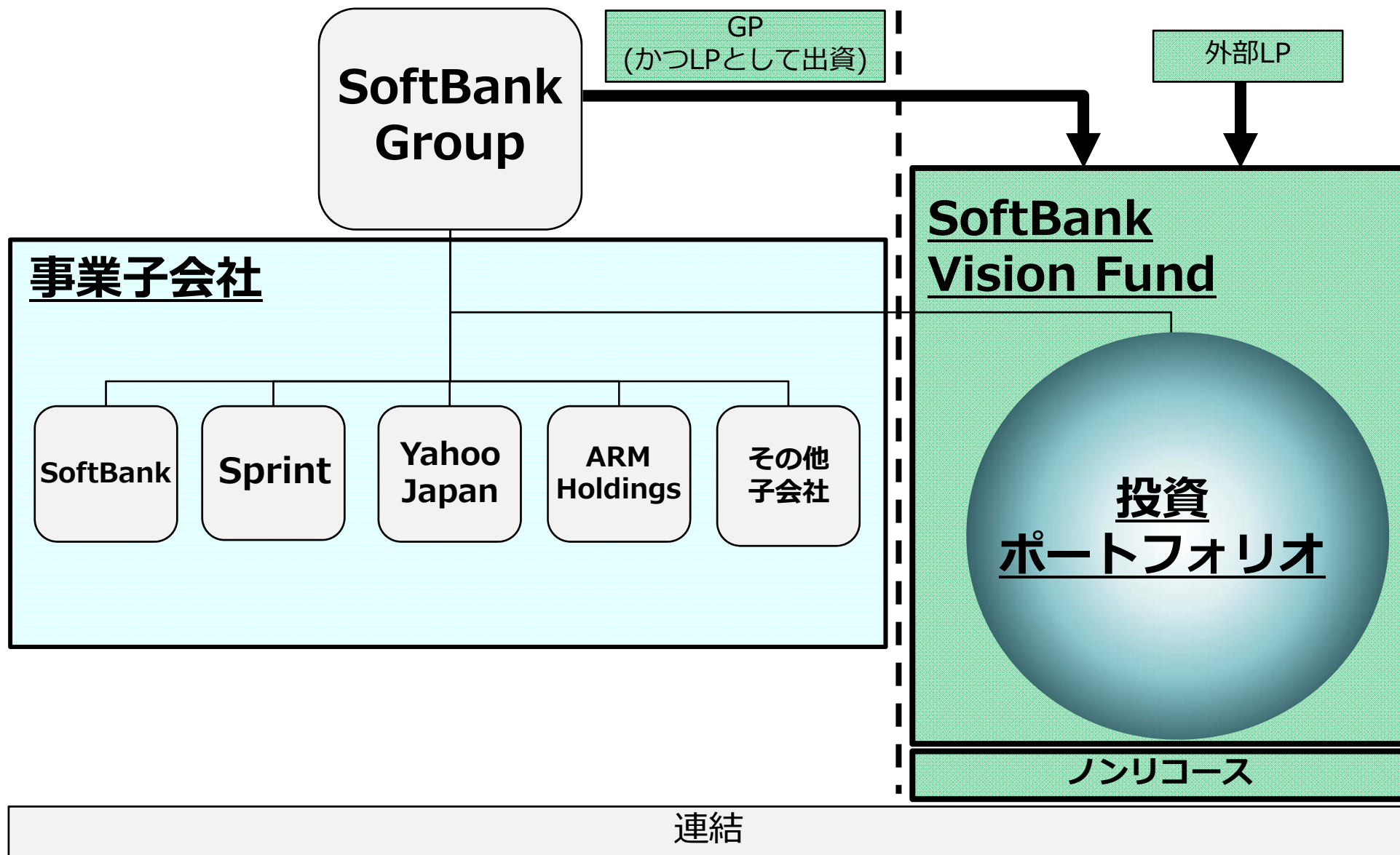
(※1) 2017年6月末時点発行残高（但し、外貨建ハイブリッド社債は2017年7月発行）

(※2) ハイブリッド債を早期償還するケース

(※3) 1ドル=112.00円にて換算

# SoftBank Vision Fundの財務的意義 (イメージ)

財務負担を抑えながらも投資機会を最大に捉える



## SoftBank Vision Fundとクレジット改善の両立

### 企業価値経営を加速させる新たな投資戦略 - SoftBank Vision Fund

- 財務負担を抑えながらも投資機会を最大に捉える
- 中長期の投資戦略・投資計画の可視化
- ファンドと当社のクレジットを分別管理

### 新たな投資戦略を支える財務基盤の構築 -クレジット改善

- 子会社・グループ会社からのFCFを最大化
- 多様な調達手段を実現する市場創造
- グローバルなバランスシート管理

### 新財務戦略に対する 各ステークホルダーの満足度向上

- クレジット投資家や格付にも十分に配慮
- 対話の充実による開示満足度向上
- 「ディスカウント」から「プレミアム」へ

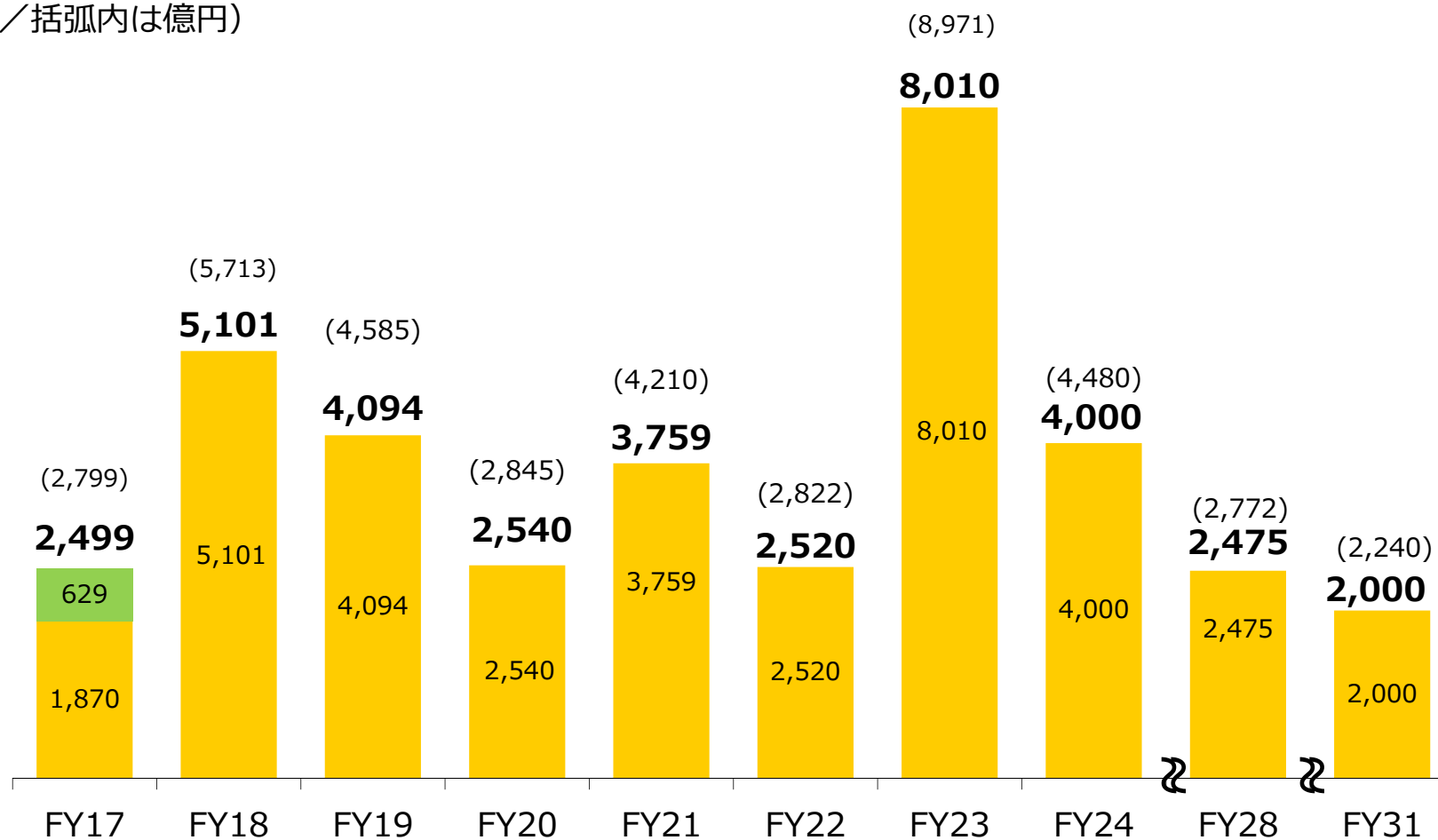
ステークホルダーの理解の下  
新たなステージへ

(ご参考)

# スプリント 負債償還スケジュール

- スプリント Notes & Credit Facilities
- Clearwire Notes

(USD mm/括弧内は億円)



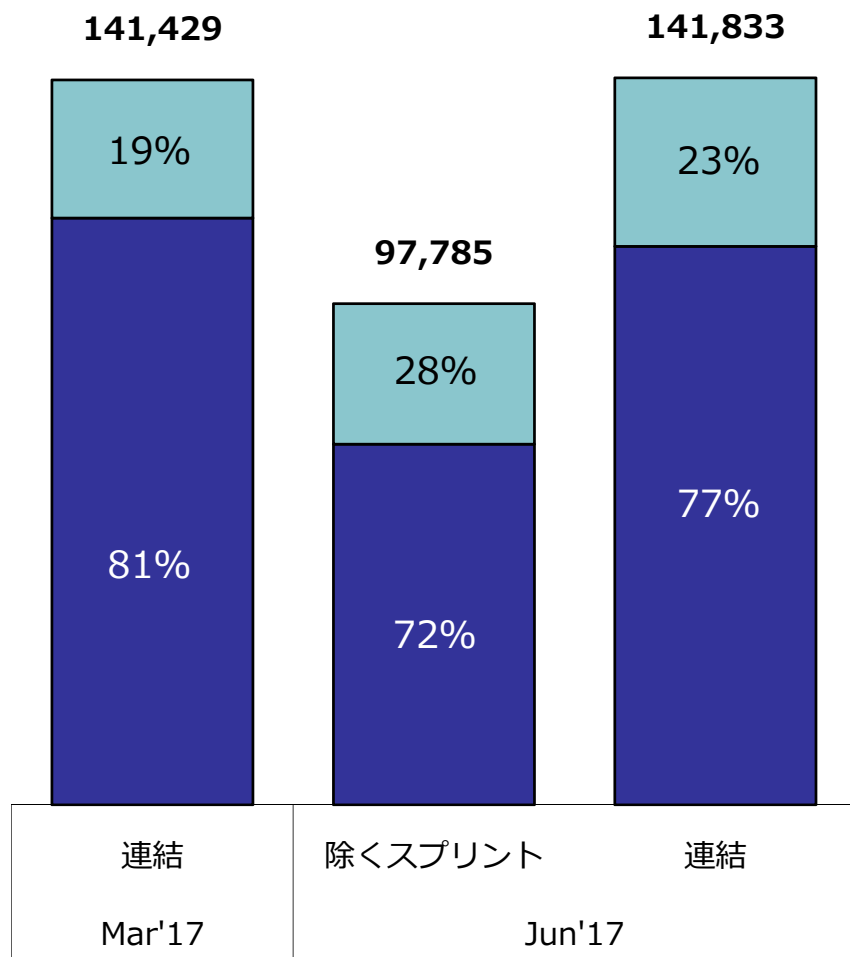
(※1) 2017年6月末時点発行残高  
 (※2) 1ドル=112.00円にて換算

# 有利子負債の長短・固定変動比

## 有利子負債：長短比

(億円)

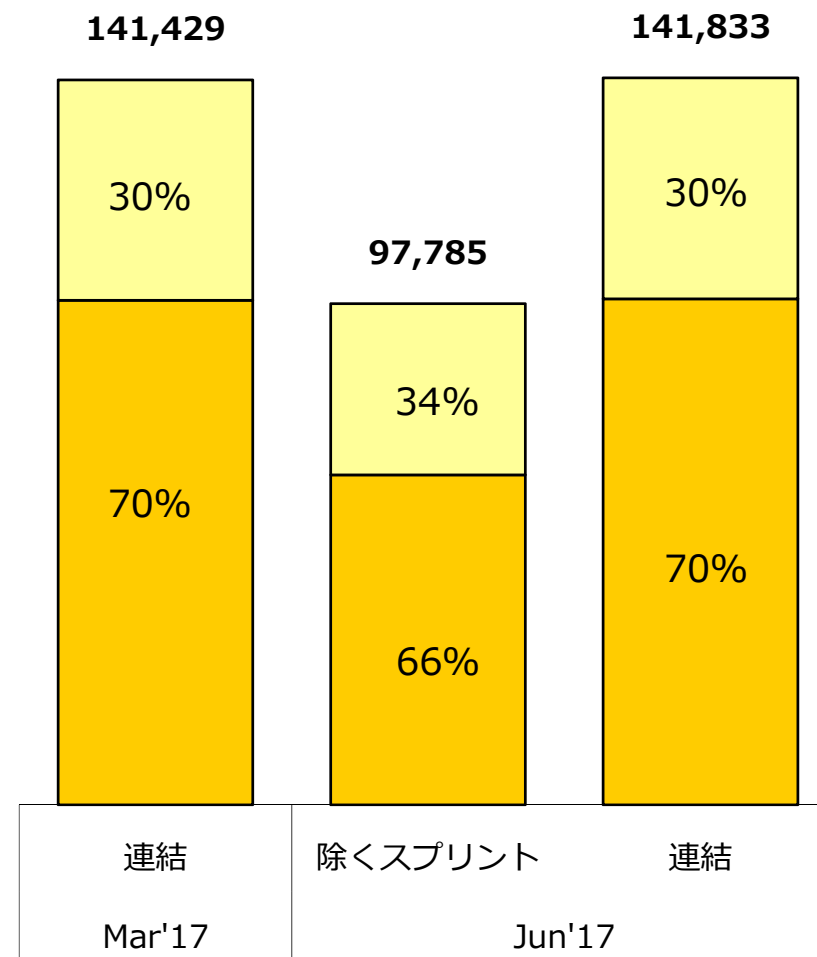
■ 長期 ■ 短期



## 有利子負債：固定変動比

(億円)

■ 固定 ■ 変動



# 国内通信事業編

# 1. 成長戦略

<国内通信事業>





## 2. 先行投資の強化

<国内通信事業>

顧客基盤の拡大	顧客還元	ヤフーとのシナジー
 	<b>ギガモンスター</b> <b>SUPER! FRIDAY</b> スマホデビュー割 長期継続特典	<b>YAHOO! JAPAN</b> ショッピング 毎日ポイント10倍 <b>YAHOO! JAPAN</b> プレミアム 全特典 使い放題

### 2ブランド戦略を推進

SoftBank : 差別化を推進、FY17は先行投資期

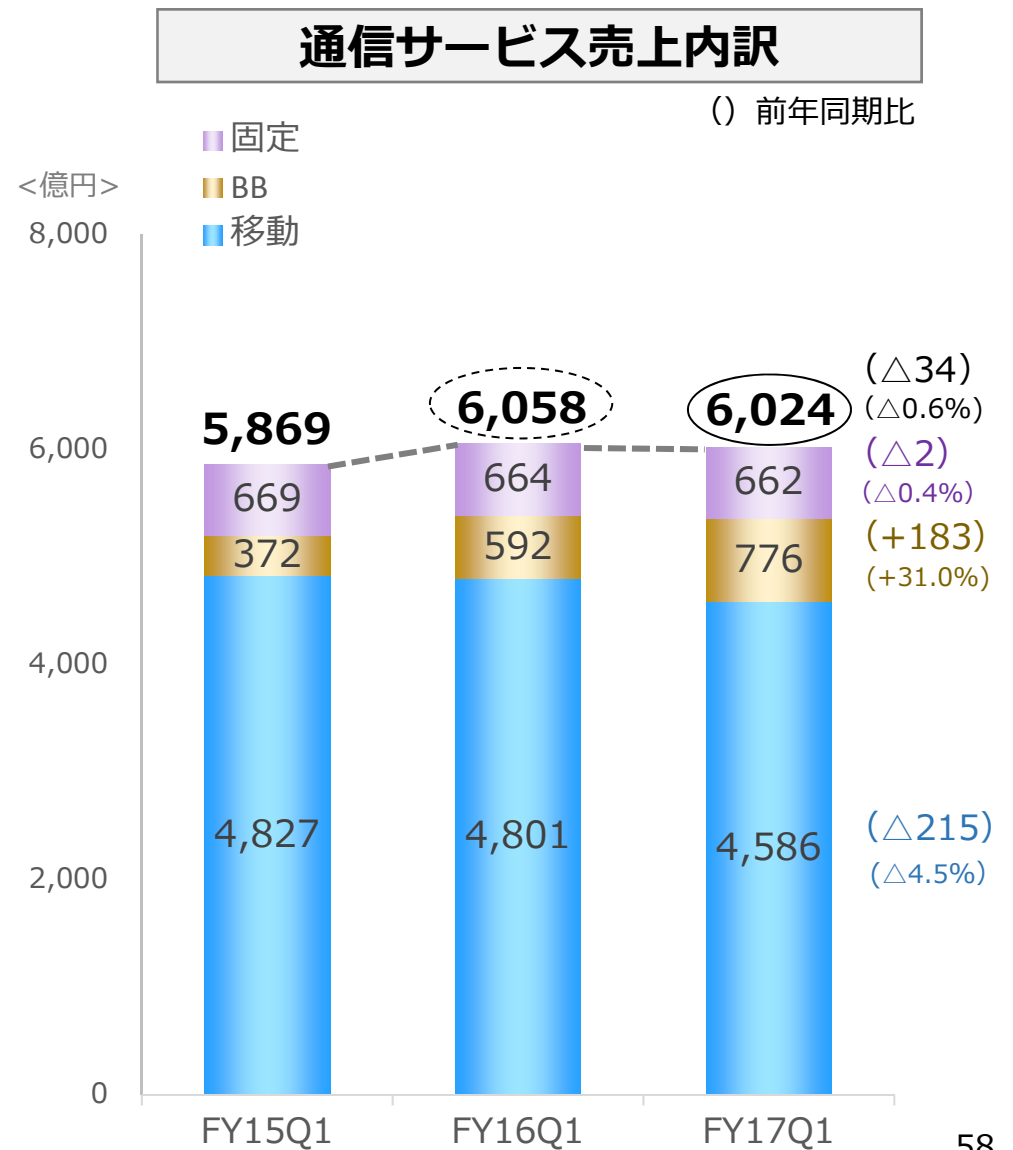
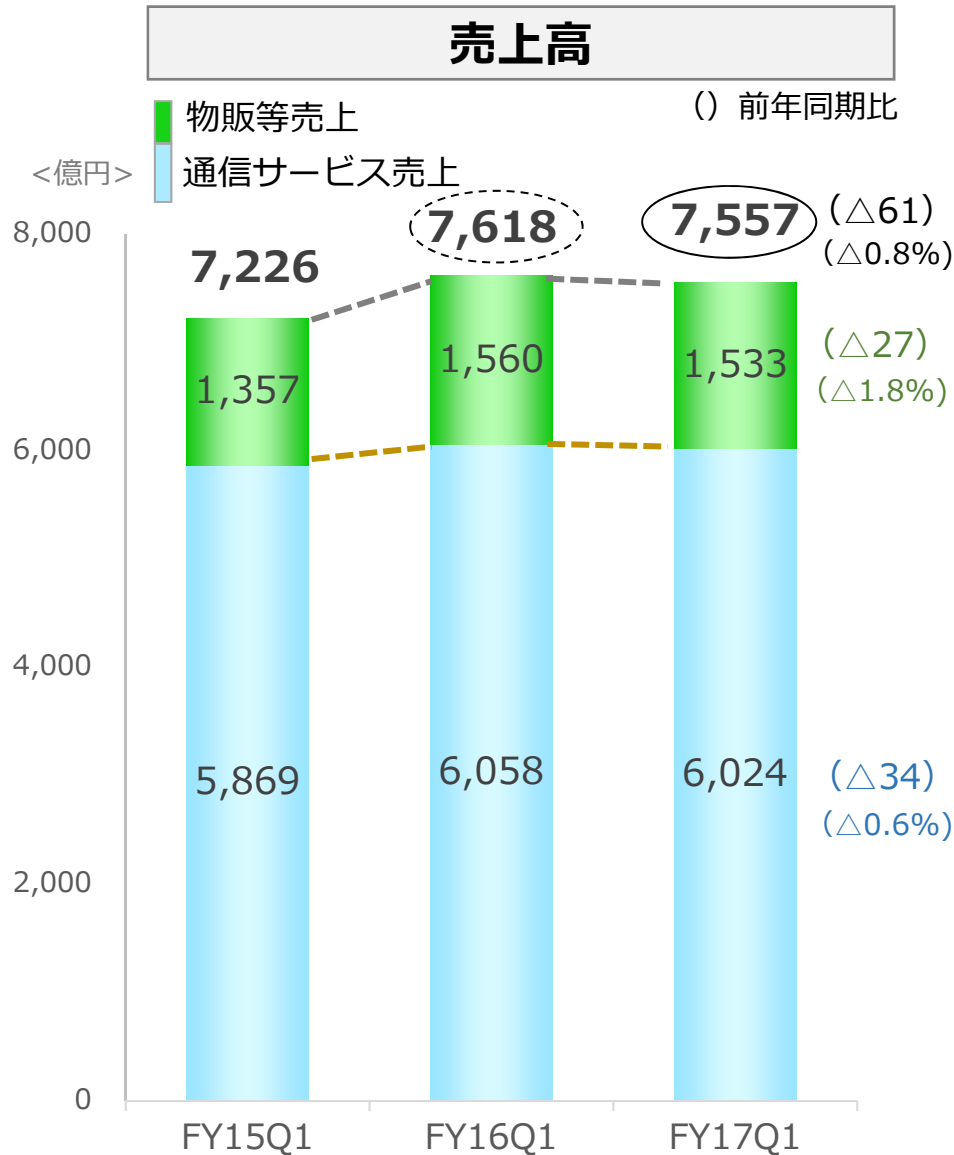
**Y! mobile** : コスト重視、好調に推移

\*全SoftBankスマホユーザー

# 3. 売上高

<国内通信事業>

- FY17Q1の売上高は約7,557億 (前年比61億減少: 通信△34億、物販等△27億)
- BB事業が堅調に推移 (前年比183億増加)



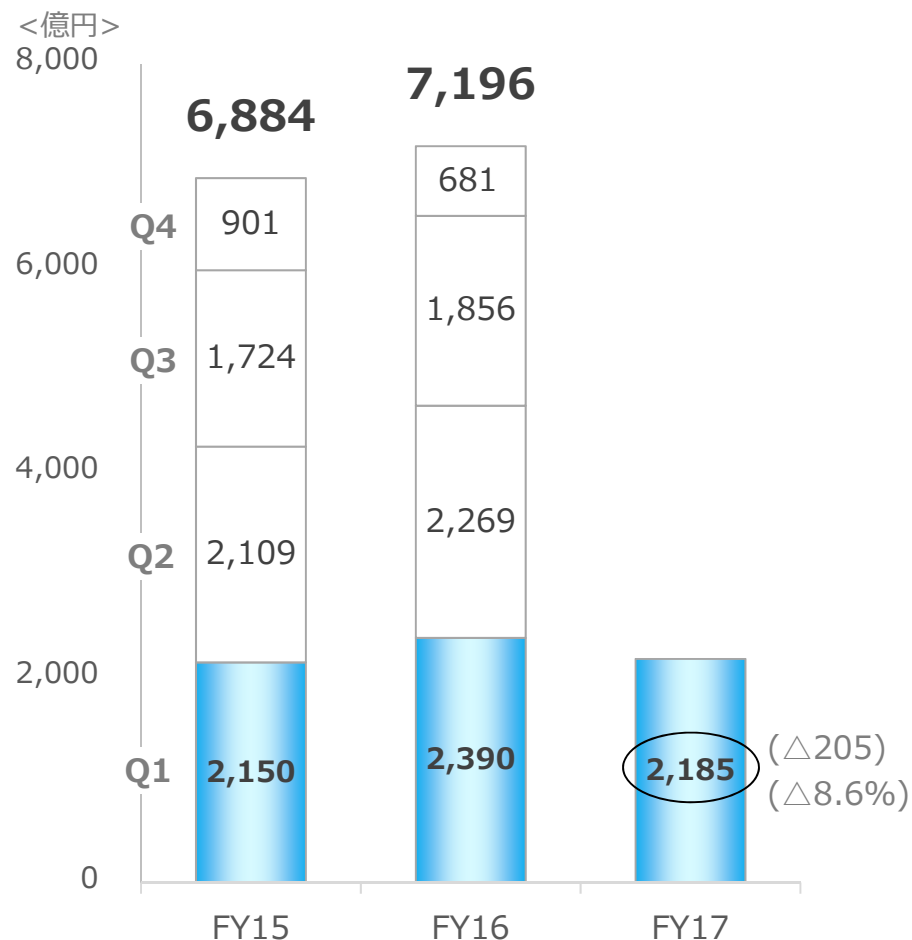
# 4. 営業利益・調整後EBITDA

<国内通信事業>

■ FY17Q1のセグメント利益は2,185億、前年比△205億

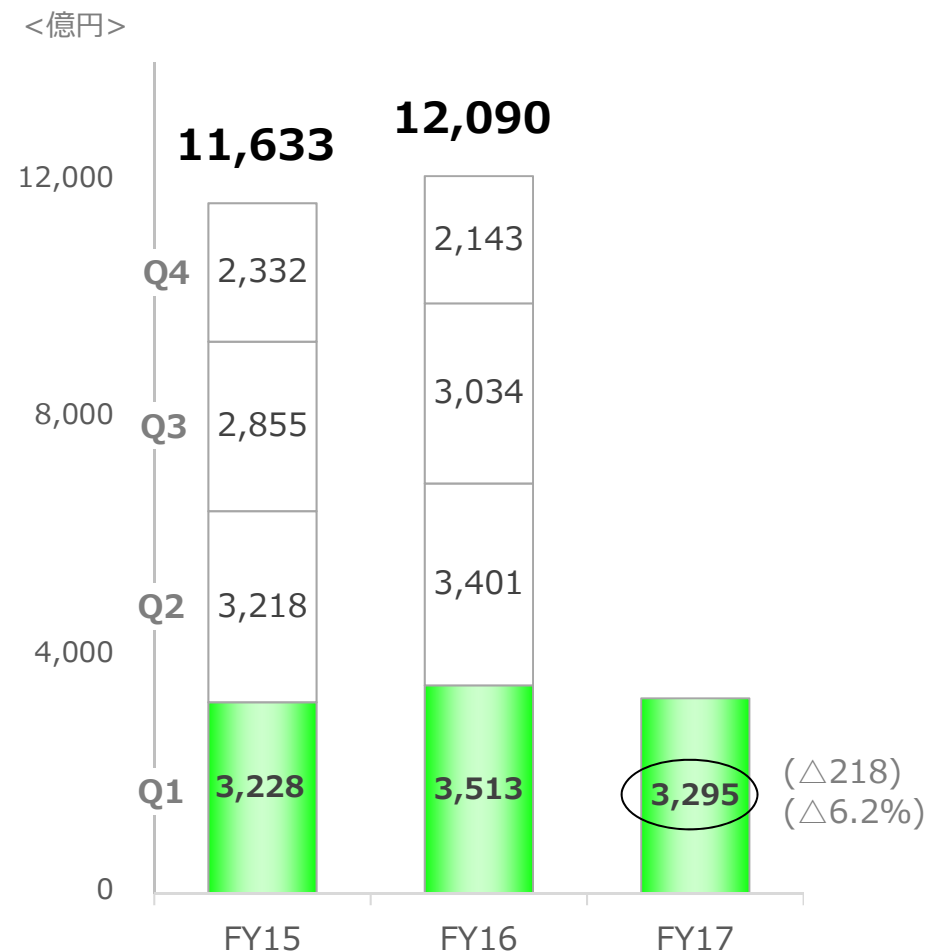
## 営業利益/セグメント利益

( ) 前年同期比



## 調整後EBITDA

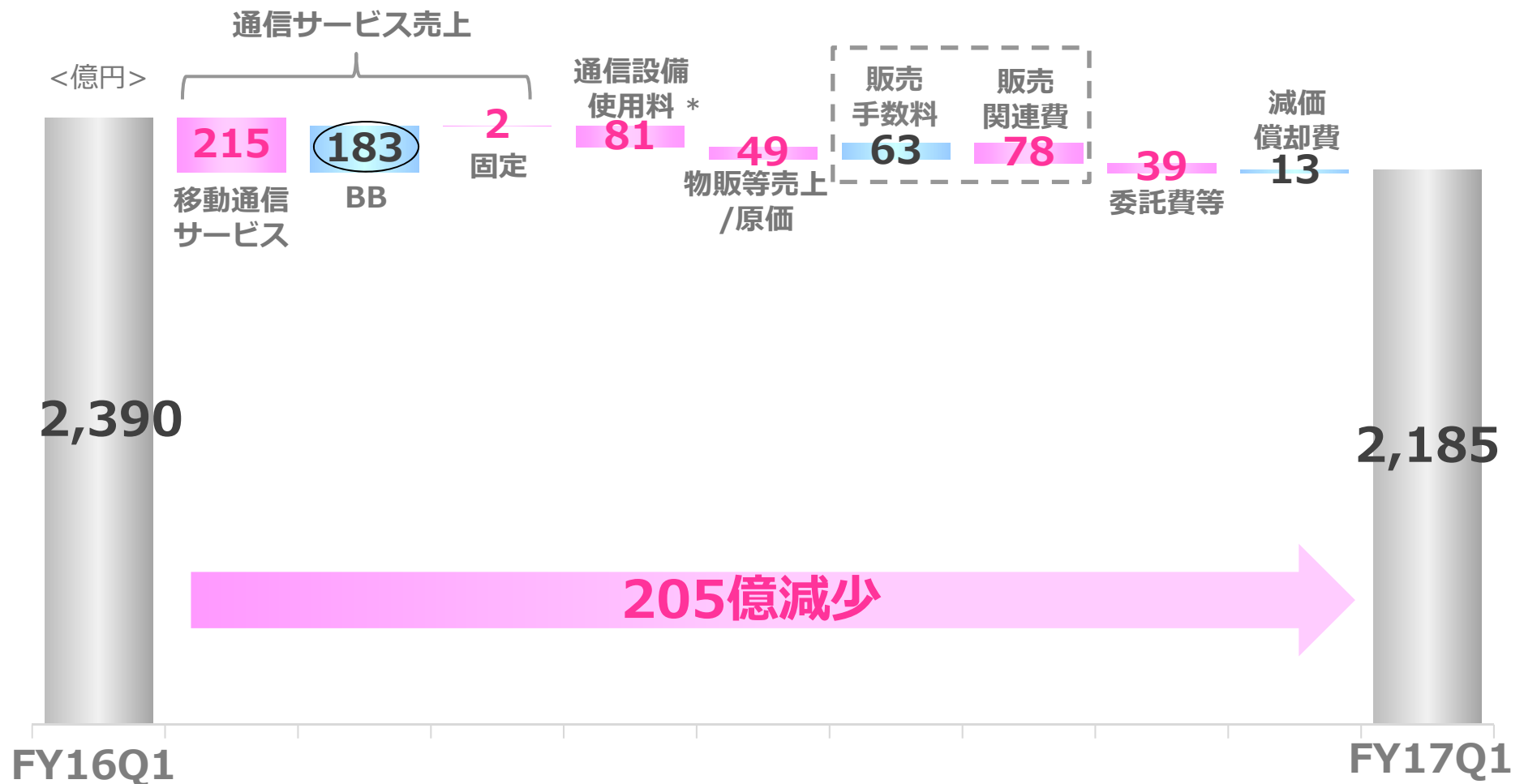
( ) 前年同期比



# 5. セグメント利益の前年対比

<国内通信事業>

- トップラインはBB事業が牽引
- おうち割の拡大、ギガモンスターの導入、MBB・PHSの減少等で移動通信は減収
- 契約獲得に向けた先行投資により費用増



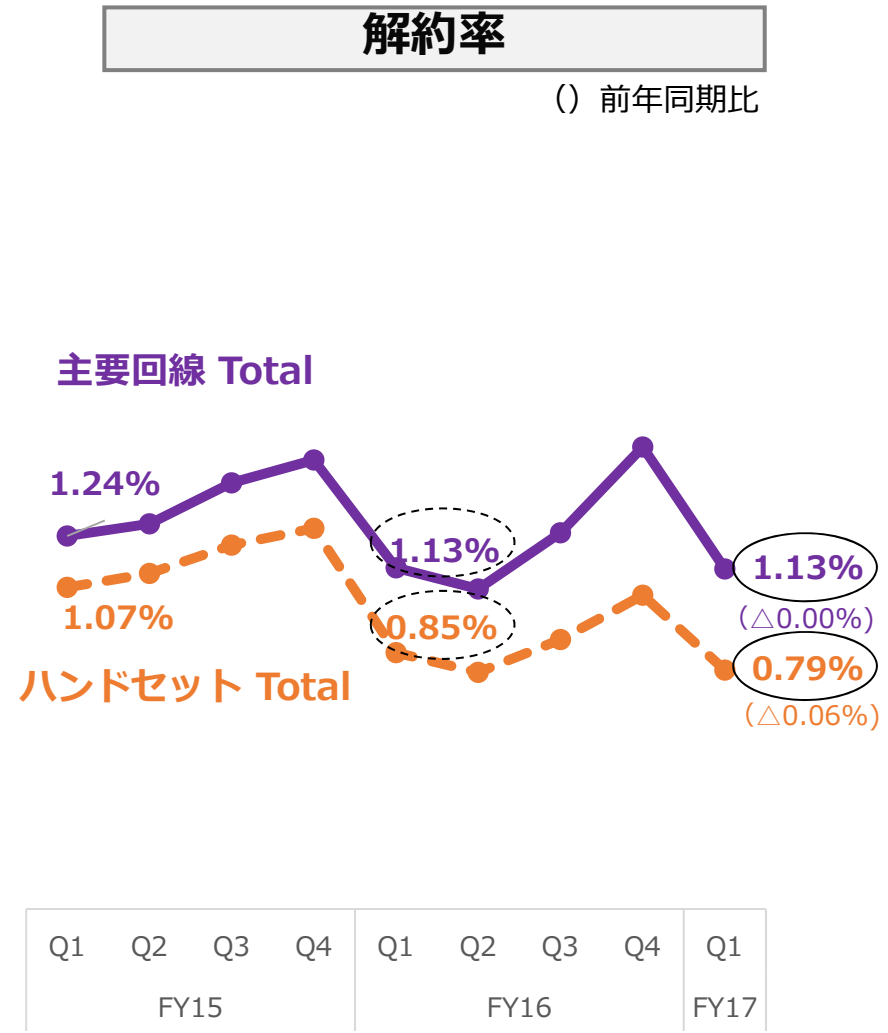
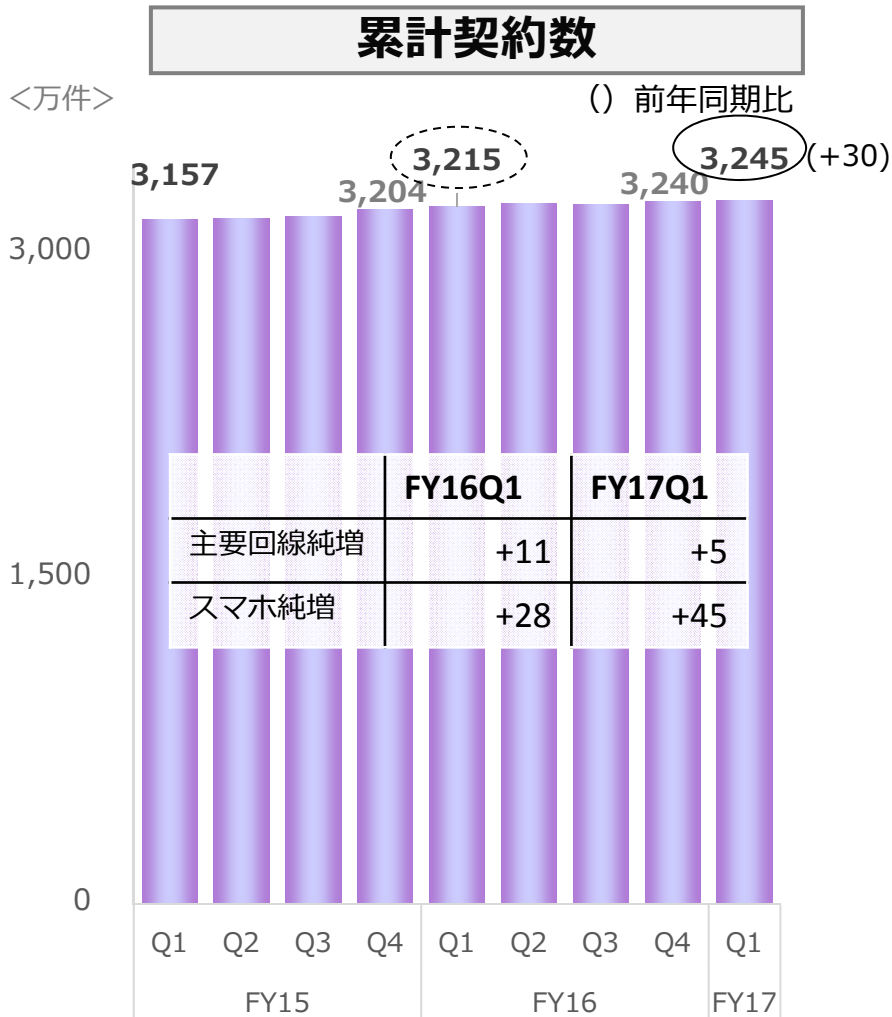
\*主としてBB事業回線増に伴うNTT回線利用料の増加

# 6. 契約数・解約率（主要回線）

<国内通信事業>

- 契約数: 前年同期比+30万件、スマホ+175万件増加
- 解約率: 前年同期比横ばい、ハンドセットは引き続き改善、MBBが悪化

主要回線：ハンドセット・タブレット・MBB(\*)

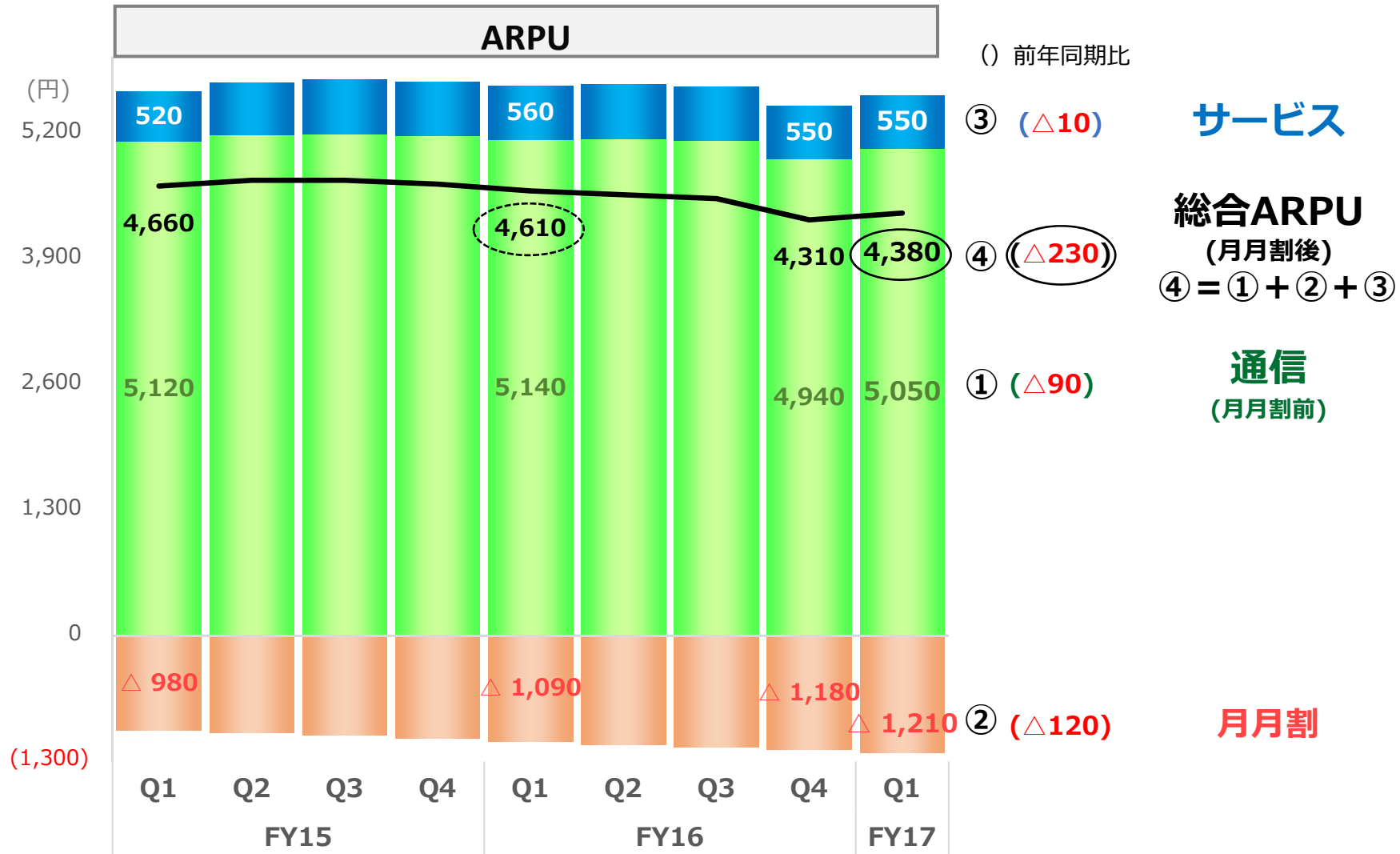


\*主要回線、解約率の詳細な定義については本資料P.70を参照。

# 7. ARPU (主要回線)

<国内通信事業>

- Q1は前年同期比△230円、割引ARPU△120円
- YMスマホの構成増、おうち割光セット拡大等により減少

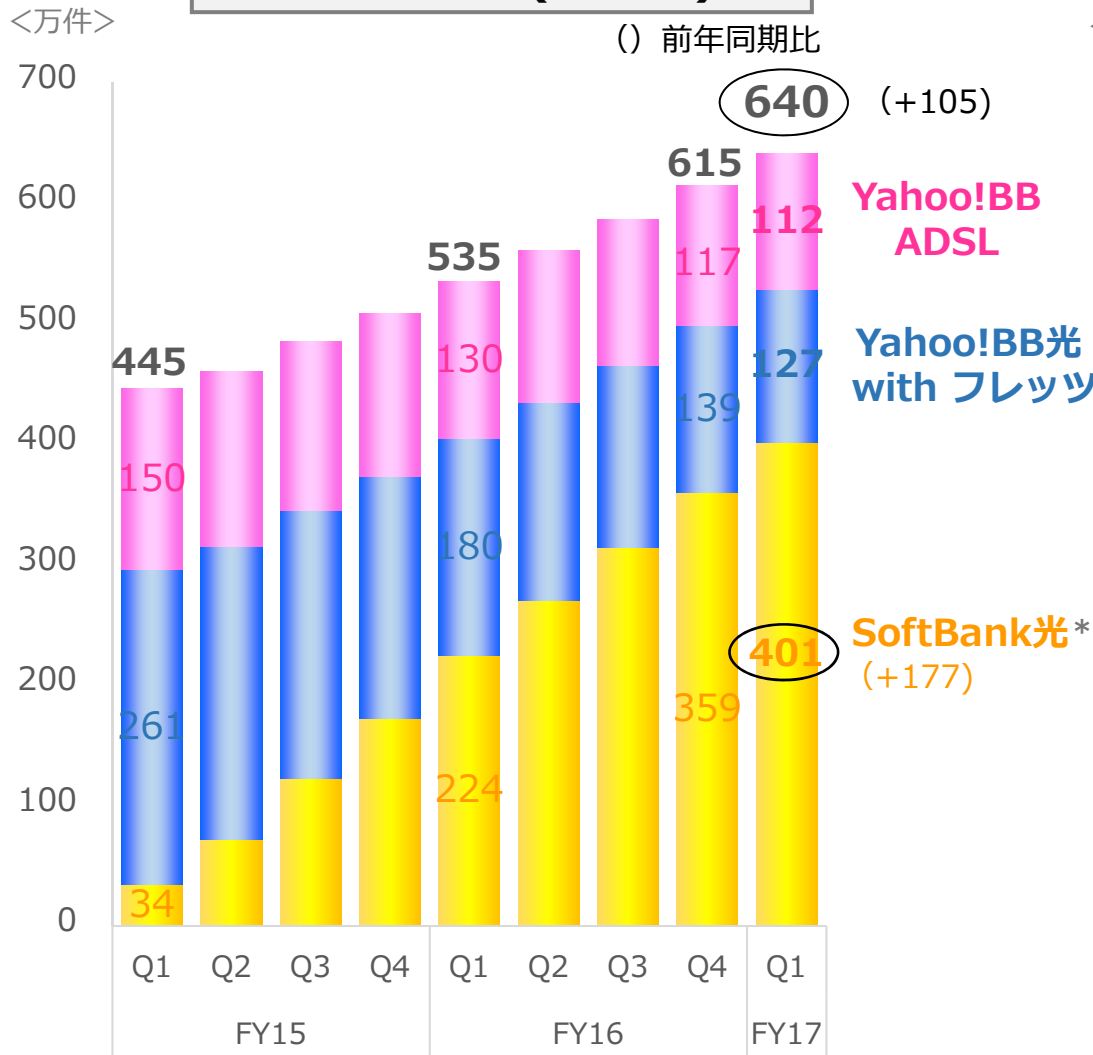


# 8. BBサービスの進捗

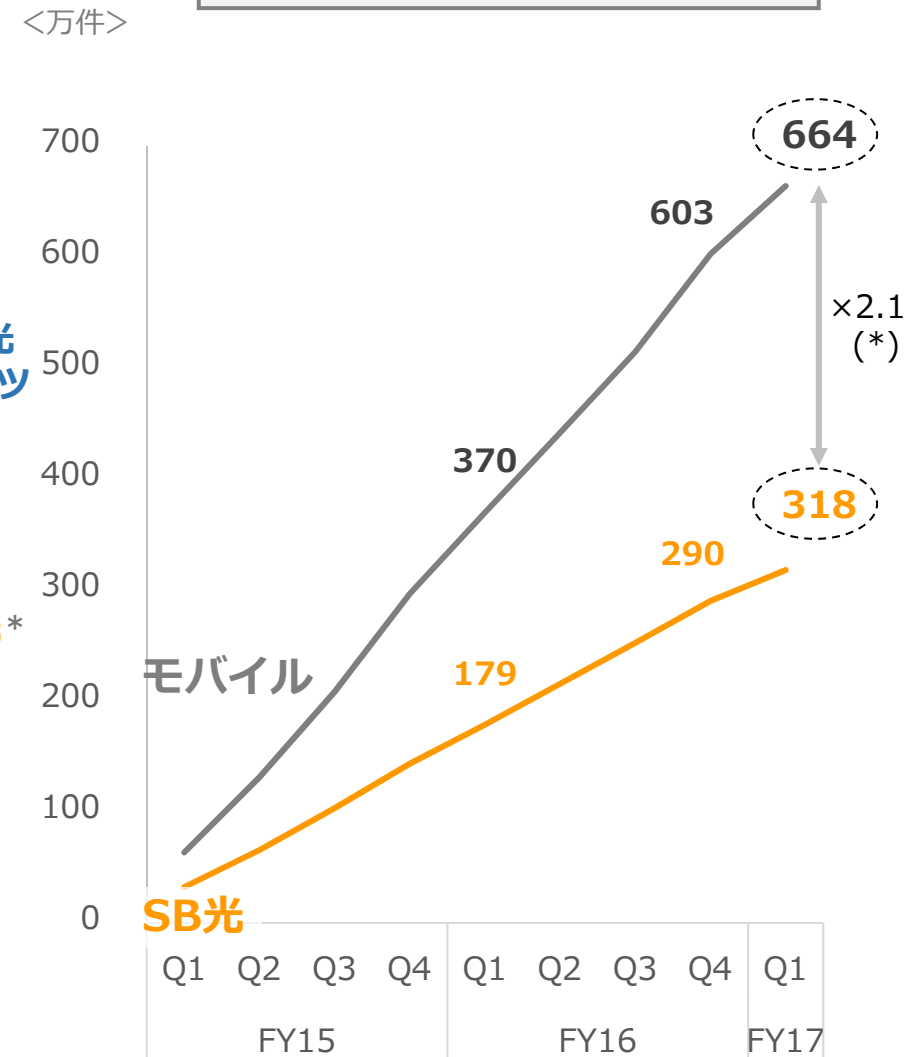
<国内通信事業>

- SoftBank光のQ1末契約数(開通)は401万件、獲得は順調に推移
- 光セット割適用件数は664万件、昨年比倍増

累計契約数(開通数)



光セット割累計適用件数



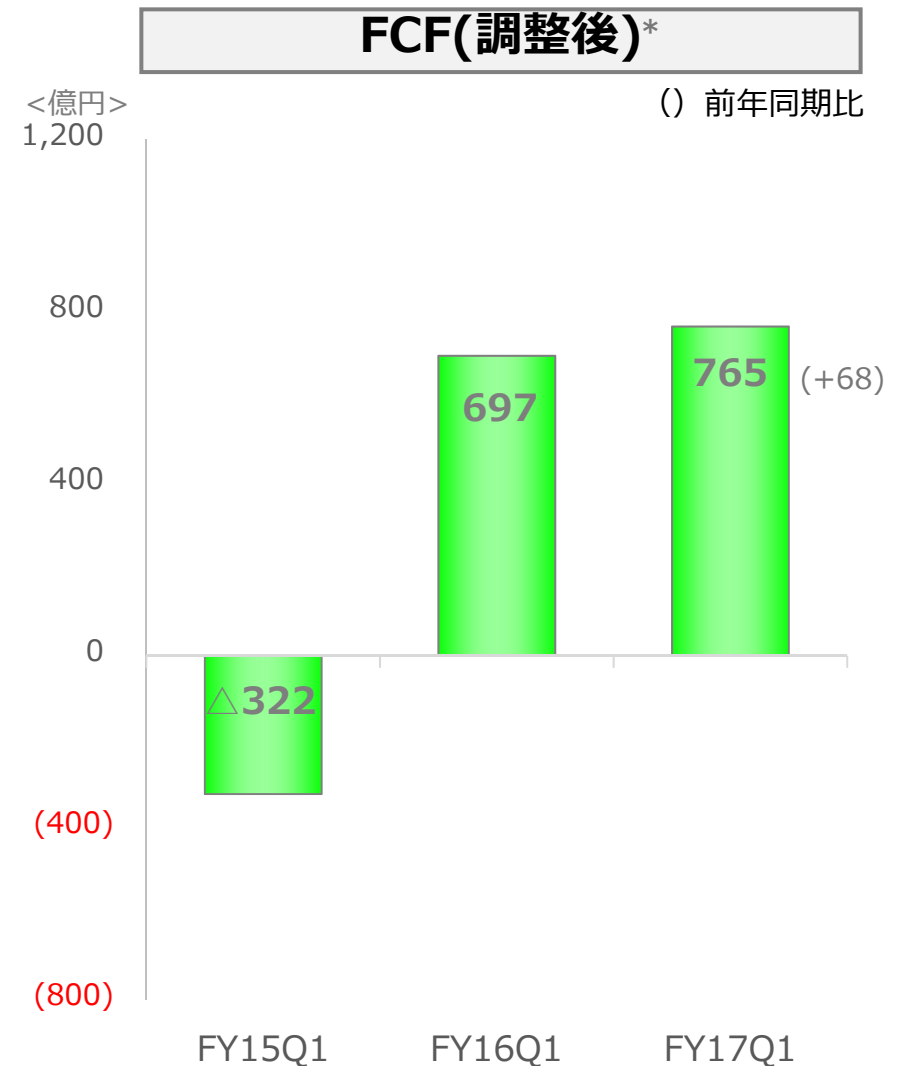
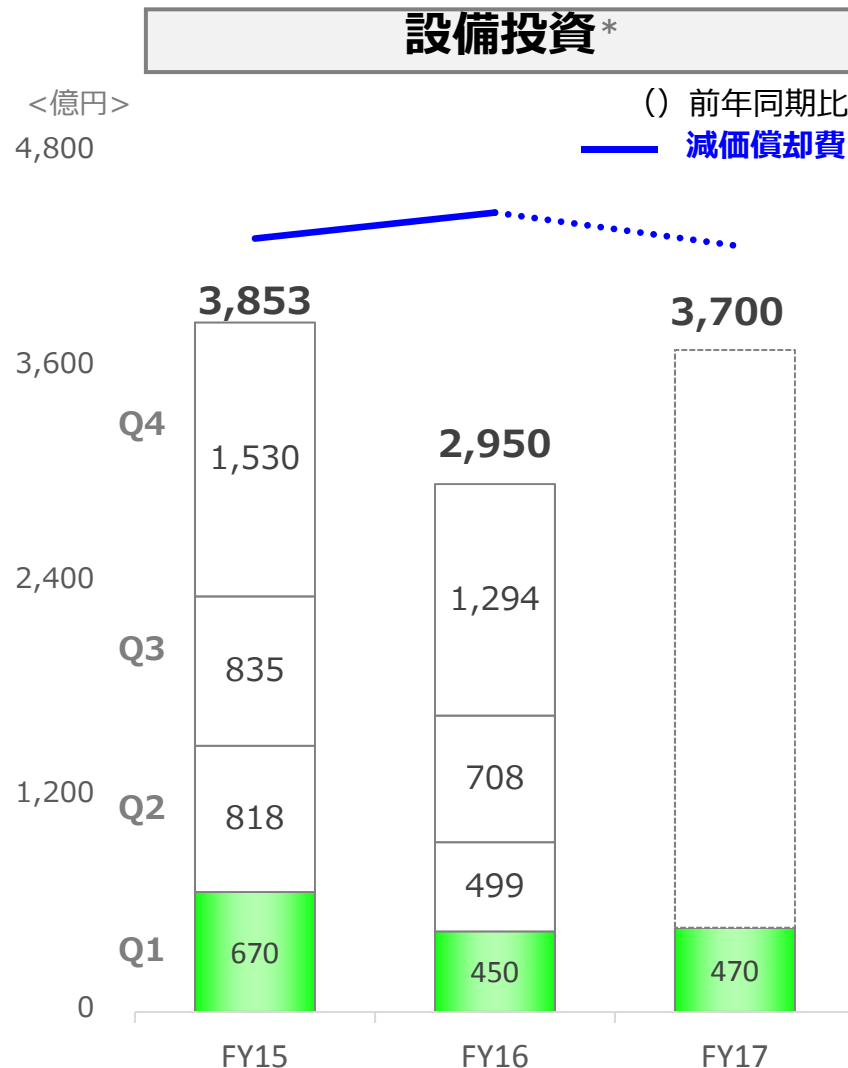
\*SoftBank光にはSoftBank Airを含む

\*SB光1件当たりのモバイルセット割適用件数

# 9. 設備投資推移/FCF

<国内通信事業>

- FY17Q1の設備投資は470億円
- FY17Q1のFCFは765億円、対前年+68億



\* 設備投資額：検収ベース。レンタル端末除く。  
減価償却費：除却費含む。レンタル端末・顧客資産に係る償却費除く。

\* ソフトバンクグループ(株)との内部取引を除く



# 10. 成長戦略(新領域) ~SBW~

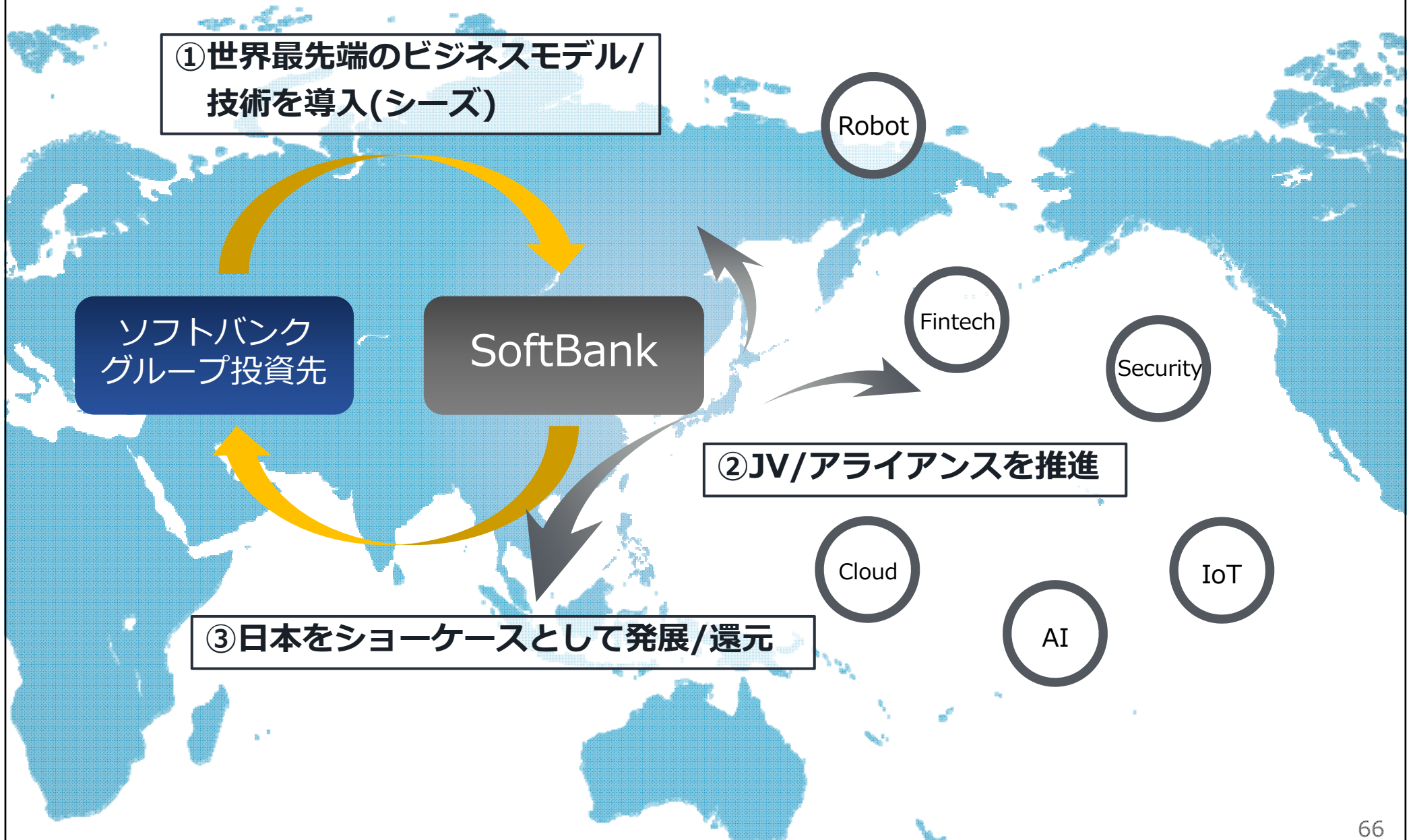


## SoftBank World 2017 投資先とのシナジー創出へ



# 11. 成長戦略(新領域) ~シナジー最大化~

<国内通信事業>





# 12. 成長戦略(新領域) ~事例~

<国内通信事業>

## スマホ・光を中心に収益機会を創出

エネルギーIoT  
サービスに参入

革新的PFの日本導入  
のためのJV設立

沖縄での実証実験成功  
(内閣府SIP)

ビッグデータの  
分析及び利活用

RPA分野に係る  
業務提携契約締結

日本株の現物取引  
1,000円から

無償のランサムウェア  
対策ソフトを公開

SBスマホユーザー  
Yahoo!プレミアム会員特典使い放題



# 13.国内通信事業2017年度見通し

1 先行投資を強化し成長戦略を推進

2 5,000億円台のFCF創出を継続

3 国内通信事業は減益 将来成長を重視  
(前期比 最大-7%)

\*2017年度通期の国内通信事業セグメントの営業利益

# (ご参考) 国内通信事業 売上内訳

<国内通信事業>

<億円>

	FY2016					FY2017
	Q1	Q2	Q3	Q4	通期	Q1
売上高合計	7,618	7,928	8,461	7,931	31,938	7,557
通信サービス売上	6,058	6,095	6,135	5,943	24,231	6,024
移動通信サービス	4,801	4,781	4,761	4,524	18,866	4,586
通信	4,220	4,201	4,193	3,962	16,576	4,029
サービス	581	580	568	561	2,290	557
ブロードバンドサービス	592	646	709	742	2,690	776
固定通信サービス	664	668	665	677	2,675	662
物販等売上	1,560	1,833	2,326	1,988	7,707	1,533

# ソフトバンクのARPU等の定義および算出方法

## <移動通信サービス>

### 1. 契約数

主要回線 : スマートフォン（注1）、従来型携帯電話、タブレット、モバイルデータ通信端末（注2）  
通信モジュール等 : 通信モジュール（注3）、みまもりケータイ、プリペイド式携帯電話など  
PHS : PHS

（注1）「スマホファミリー割」適用のスマートフォンは、「通信モジュール等」に含まれる。

（注2）「データカードにねん得割」適用のモバイルデータ通信端末は、「通信モジュール等」に含まれる。

（注3） PHS回線を利用した通信モジュールは、「PHS」に含まれる。

### 2. ARPU

ARPU（Average Revenue Per User） : 1 契約当たりの月間平均収入

総合ARPU = （データ関連収入 + 基本料・音声関連収入など + 端末保証サービス収入、コンテンツ関連収入、広告収入など）  
÷ 稼働契約数（10円未満を四捨五入して開示）

通信ARPU = （データ関連収入（パケット通信料・定額料、インターネット接続基本料など）  
+ 基本料・音声関連収入（基本使用料、通話料、着信料収入など）） ÷ 稼働契約数（10円未満を四捨五入して開示）

サービスARPU = （端末保証サービス収入、コンテンツ関連収入、広告収入など） ÷ 稼働契約数（10円未満を四捨五入して開示）

稼働契約数 : 当該期間の各月稼働契約数（（月初契約数 + 月末契約数） ÷ 2）の合計値

着信料収入 : 他の通信事業者の顧客が「ソフトバンク」および「Y!mobile」携帯電話へ通話する際に、ソフトバンクが役務提供している区間の料金として他の通信事業者から受け取る接続料

月々割 : 「おうち割光セット」の値引き額を含む

### 3. 解約率

解約率 : 月間平均解約率（小数点第3位を四捨五入して開示）

解約率（ハンドセット） : 主要回線のうち、スマートフォンおよび従来型携帯電話（音声SIMを含む）の解約率

解約率 = 解約数 ÷ 稼働契約数

解約数 : 当該期間における解約総数。MNP制度を利用して、「ソフトバンク」と「ワイモバイル」の間で乗り換えが行われる際の新規契約は機種変更数に含まれる。

稼働契約数 : 当該期間の各月稼働契約数（（月初契約数 + 月末契約数） ÷ 2）の合計値

### 4. おうち割光セット

移動通信サービスと「SoftBank 光」などのブロードバンドサービスをセットで契約する顧客に対して、移動通信サービスの通信料金を割り引くサービス

累計適用件数 : 「Y!mobile」ブランドの移動通信サービスに適用される割引サービス「光おトク割」の適用件数を含む。東日本電信電話株式会社（NTT 東日本）および西日本電信電話株式会社（NTT 西日本）の局舎において光回線の接続工事が完了していない場合でも、当該光回線に紐づく移動通信サービスに対して「おうち割 光セット」がすでに適用されている場合には、当該光回線を「おうち割 光セット」の適用件数に含む

## <ブロードバンドサービス>

### 契約数

「SoftBank 光」契約数 : NTT 東日本およびNTT 西日本の局舎において光回線の接続工事が完了している回線数。「SoftBank Air」契約数を含む。

「Yahoo! BB 光 with フレッツ」契約数 : NTT 東日本およびNTT 西日本の局舎において光回線の接続工事が完了し、サービスを提供しているユーザー数

「Yahoo! BB ADSL」契約数 : NTT 東日本とNTT 西日本の局舎においてADSL 回線の接続工事が完了している回線数

# スプリント編



**Q1**  
FY 2017

**RESULTS**

SoftBank Investor Briefing



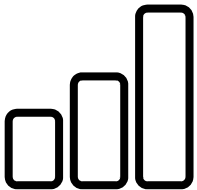
# Cautionary Statement

## SAFE HARBOR

This release includes “forward-looking statements” within the meaning of the securities laws. The words “may,” “could,” “should,” “estimate,” “project,” “forecast,” “intend,” “expect,” “anticipate,” “believe,” “target,” “plan”, “outlook,” “providing guidance,” and similar expressions are intended to identify information that is not historical in nature. All statements that address operating performance, events or developments that we expect or anticipate will occur in the future – including statements relating to our network, cost reductions, connections growth, and liquidity; and statements expressing general views about future operating results – are forward-looking statements. Forward-looking statements are estimates and projections reflecting management’s judgment based on currently available information and involve a number of risks and uncertainties that could cause actual results to differ materially from those suggested by the forward-looking statements. With respect to these forward-looking statements, management has made assumptions regarding, among other things, the development and deployment of new technologies and services; efficiencies and cost savings of new technologies and services; customer and network usage; connection growth and retention; service, speed, coverage and quality; availability of devices; availability of various financings, including any leasing transactions; the timing of various events and the economic environment. Sprint believes these forward-looking statements are reasonable; however, you should not place undue reliance on forward-looking statements, which are based on current expectations and speak only as of the date when made. Sprint undertakes no obligation to publicly update or revise any forward-looking statements, whether as a result of new information, future events or otherwise, except as required by law. In addition, forward-looking statements are subject to certain risks and uncertainties that could cause actual results to differ materially from our company's historical experience and our present expectations or projections. Factors that might cause such differences include, but are not limited to, those discussed in Sprint Corporation’s Annual Report on Form 10-K for the fiscal year ended March 31, 2017. You should understand that it is not possible to predict or identify all such factors. Consequently, you should not consider any such list to be a complete set of all potential risks or uncertainties.

# Fiscal 1Q 2017 Highlights

Net Income



**FIRST**

time in three years

Adjusted EBITDA\*



**HIGHEST**

in nearly 10 years



**GROWING  
REVENUE**

**REDUCING  
EXPENSES**



Adjusted Free Cash Flow\*



**POSITIVE**

in 6 of last 7 quarters

Net Additions

consecutive quarters of growth

Postpaid Phone



Prepaid



Investing in our

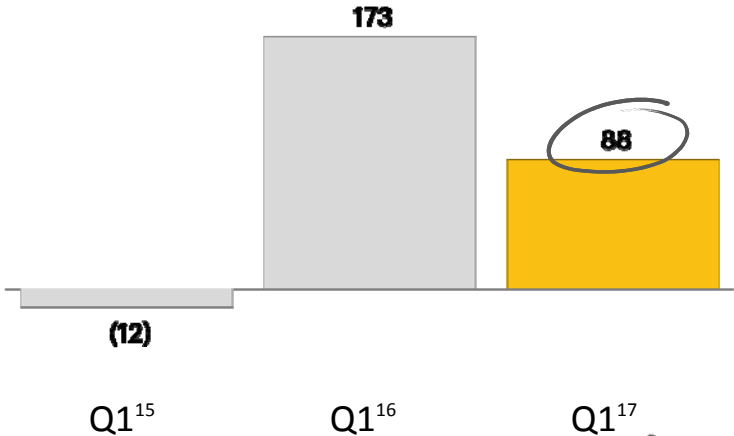
**NETWORK**

to improve the user experience



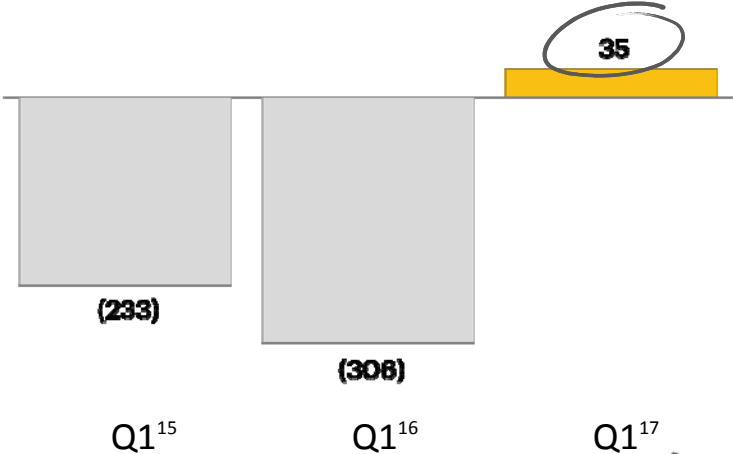
# Growing Connections

Postpaid Phone Net Adds



**8** consecutive quarters of **NET ADDITIONS**

Prepaid Net Adds<sup>^</sup>

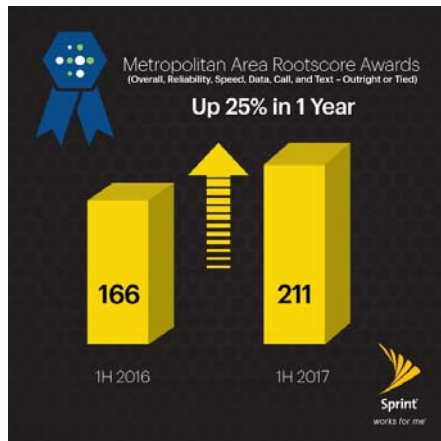


**2** consecutive quarters of **NET ADDITIONS**

<sup>^</sup>excluding Lifeline

# Network Getting Better Every Day

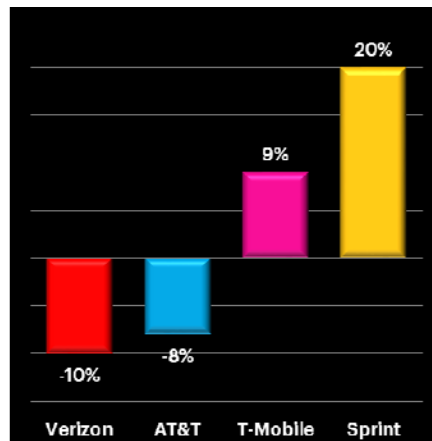
TODAY



Rankings based on RootMetrics Metro RootScore Reports from 1H 2016 and 1H 2017 for mobile performance as tested on best available plans and devices on four mobile networks across all available network types. Your experiences may vary. The RootMetrics award is not an endorsement of Sprint. Visit [www.rootmetrics.com](http://www.rootmetrics.com) for more details



National Average Download Speed Change

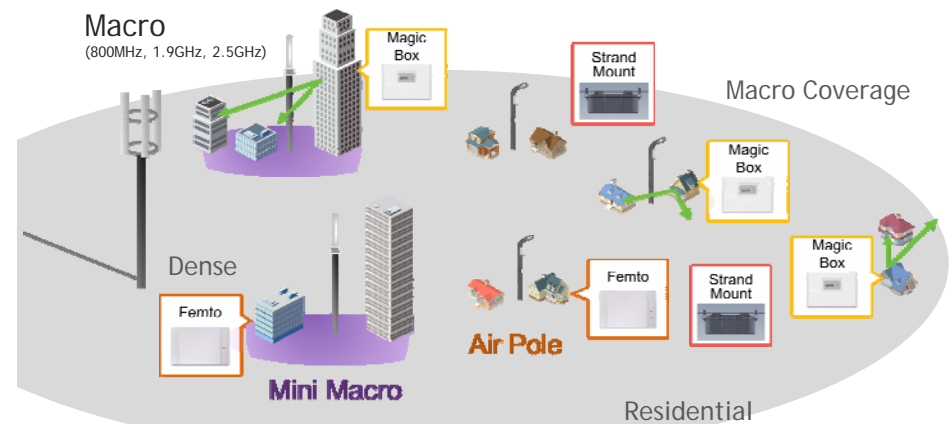


Network Built For **UNLIMITED**

Sprint's analysis of Ookla's Speedtest Intelligence data from January 2017 to June 2017 for All Mobile Results

TOMORROW

## Innovative Deployment



# Enhancing our Value Proposition



Simple &  
Flexible Offers

Expanding  
Distribution

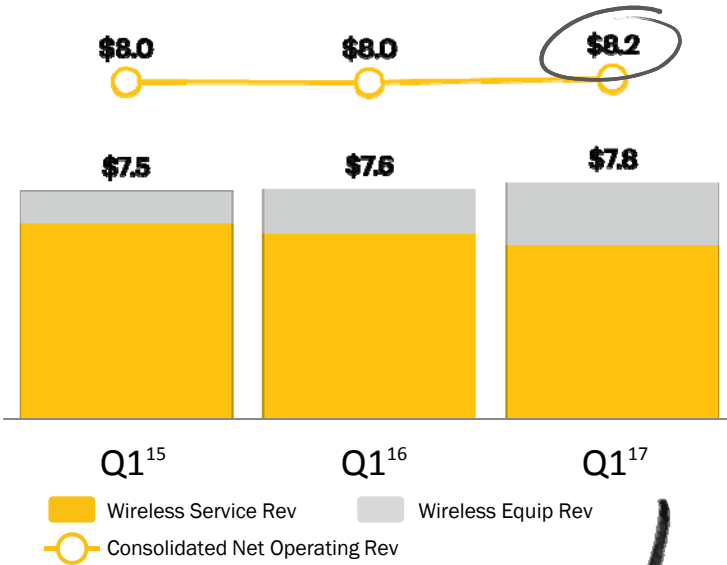
Ramping  
Digital Sales

Prepaid  
Momentum

©2017 Sprint. This information is subject to Sprint policies regarding use and is the property of Sprint and/or its relevant affiliates and may contain restricted, confidential or privileged materials intended for the sole use of the intended recipient. Any review, use, distribution or disclosure is prohibited without authorization.

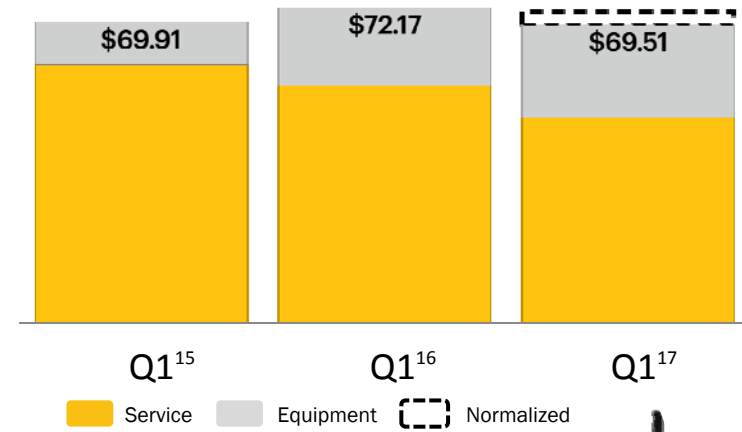
# Growing Revenue

Net Operating Revenues  
Dollars in Billions



**4** consecutive quarters of  
year-over-year  
**GROWTH**

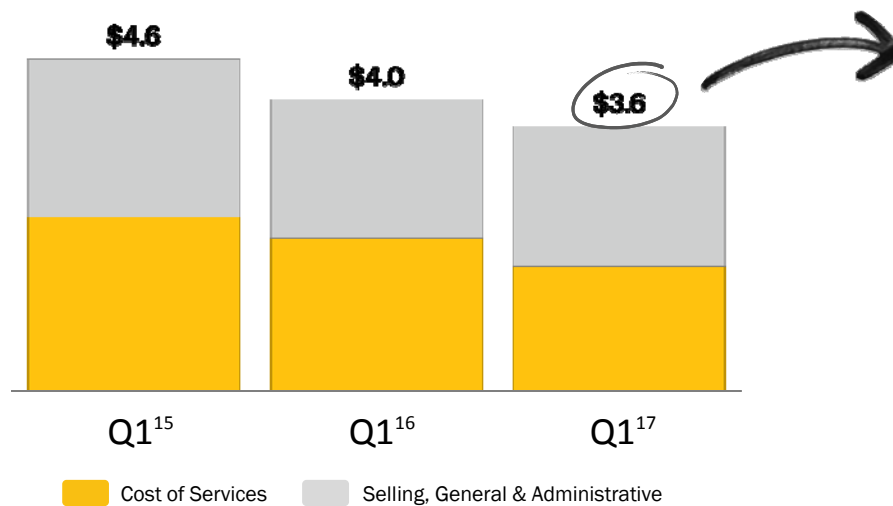
Postpaid Phone Average Billings per  
User (ABPU)\*



**STABLE**  
Revenue per User  
normalizing for change in device insurance

# Reducing Operating Expenses

Cash Operating Expenses  
Dollars in Billions

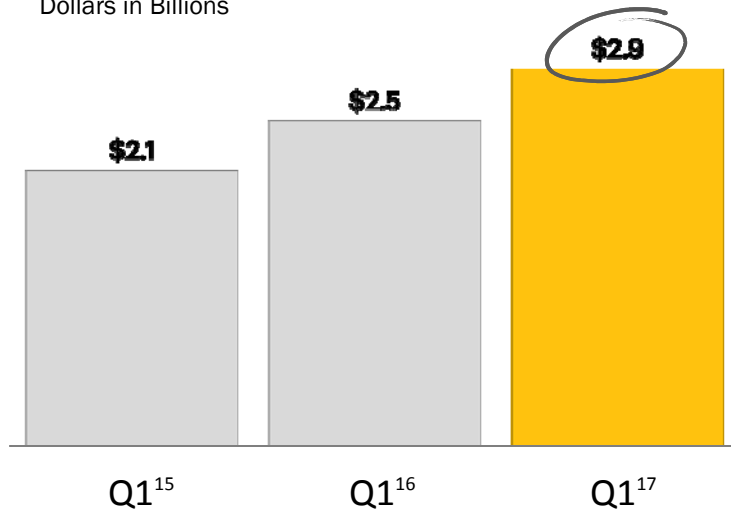


nearly  
**\$4B** annualized  
**REDUCTIONS**  
over two years

nearly  
**\$370M**  
of combined year-over-year  
**REDUCTIONS**  
in CoS and SG&A in FY1Q17

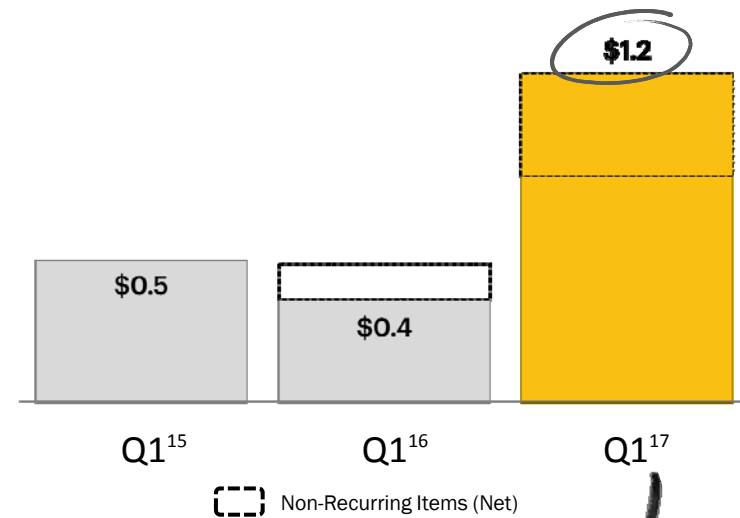
# Improving Profitability

Adjusted EBITDA\*  
Dollars in Billions



**HIGHEST**  
in nearly ten years

Operating Income  
Dollars in Billions

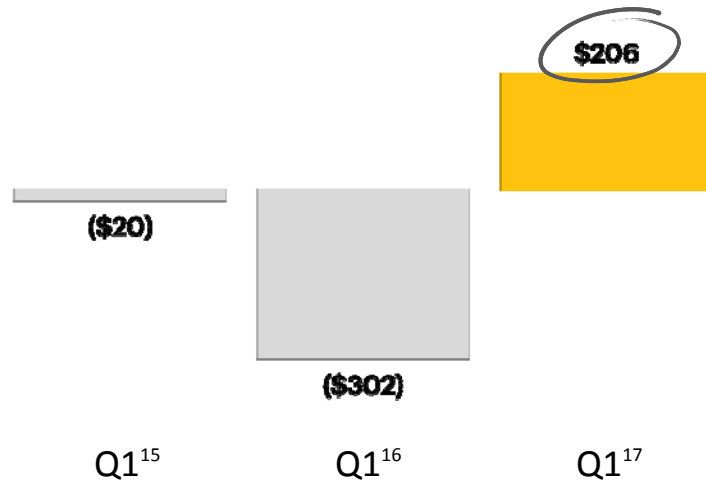


**3 x increase**  
year-over-year  
as reported



# Delivering Net Income

Net Income (Loss)  
Dollars in Millions



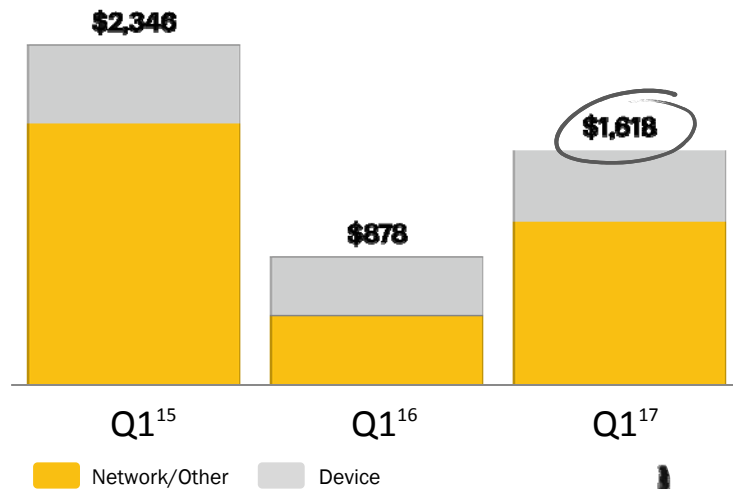
**NET INCOME**

first time in three years

(actual dollars)	1QFY17	1QFY16	Change
EPS	\$0.05	(\$0.08)	\$0.13
Spectrum license exchanges, after tax	\$0.07		\$0.07
Other expenses	(\$0.08)	(\$0.03)	(\$0.05)

# Capex & Adjusted Free Cash Flow\*

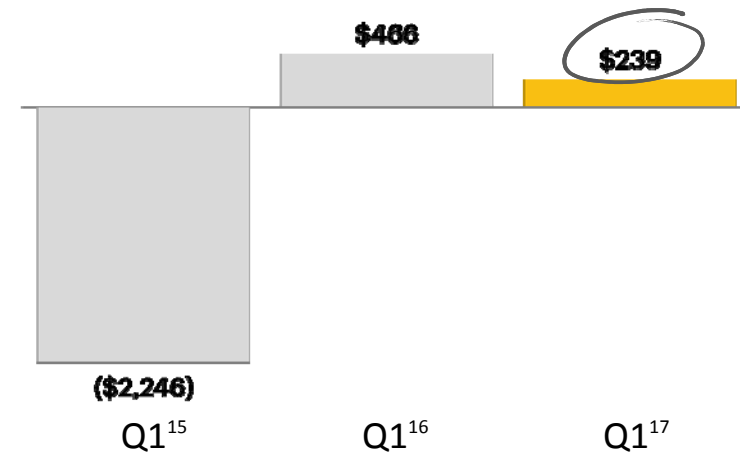
Cash Capex  
Dollars in Millions



investing in our  
**NETWORK**



Adjusted Free Cash Flow\*  
Dollars in Millions



**POSITIVE**  
six of the last seven quarters

